3-862-749-**02** (2)

デジタルビデオカメラレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Handycam

DCR-TRV5

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

エンドサーチ（17、21ページ）
「撮影日で頭出しする－日付サーチ」（38ページ）
フォトサーチ（42ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（40ページ）
「タイトルを入れる」（53ページ）
「タイトルを作る」（56ページ）
「カセットになまえを付ける－カセットラベル」（58ページ）

詳しくは69ページをご覧ください。

CM のみ　カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面とファインダーについて

液晶画面やファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。

本書内の写真について

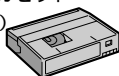
ファインダーや液晶画面の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

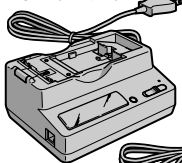
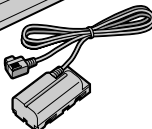
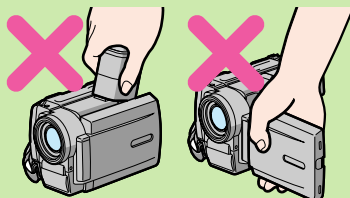
目次

とにかく撮って見る

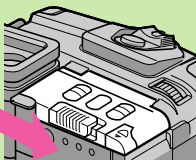
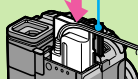
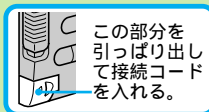
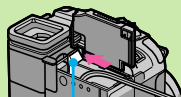
必要なもの

本体

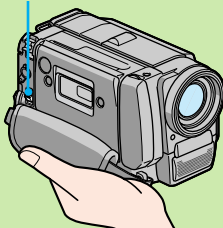
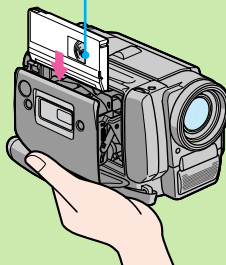
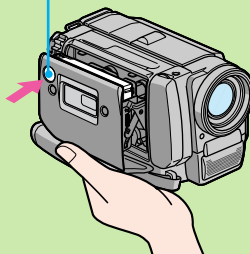
ミニDVカセット
（別売り）

本機にはミニDVカセットのみ使えます。

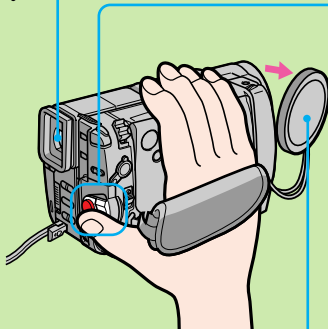
アクセサリーキット（別売り）
推奨アクセサリーキット ACC KIT-IF55

ビューファインダーや液晶画面を持たないでください！

1 電源をつなぐ（60ページ）

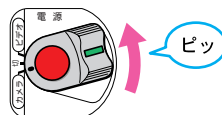
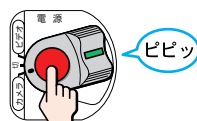
屋外ではバッテリーを使います →8ページ

❶ 開く（バッテリー）ツマミを下にずらし、ふたを開ける。

❷ 接続プレートを入れて、ふたを閉める。

接続プレートをはずすとき

取りはずしツメを押して、取り出す。

2 カセットを入れる（10ページ）

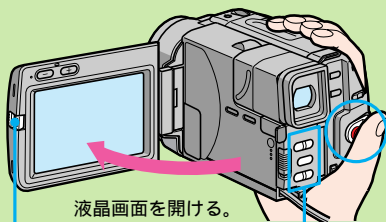
❶ カセット取出しつまみの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらして、カセット入れを開ける。

❷ テープ窓を外側にして入れる。

❸ カセットぶたの押マークボタンを押して閉める。

3 撮影する（12ページ）

ビューファインダー
この部分に目をあてて
画像を見ます。

❶ **レンズキャップをはずす。**

❷ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

❸ **赤いボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

4 再生する（18ページ）

液晶画面を開ける。

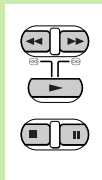
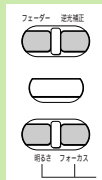
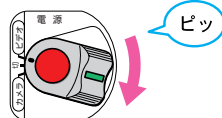
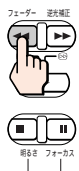
押しながら開く。

❶ **緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。**

❷ **◀◀ボタンを押して巻き戻す。**

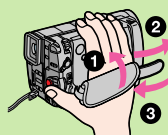
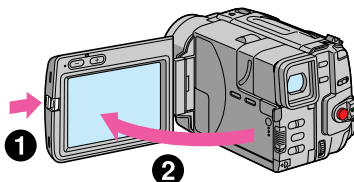
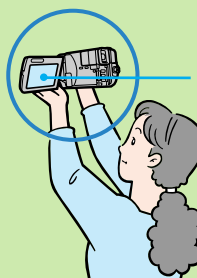
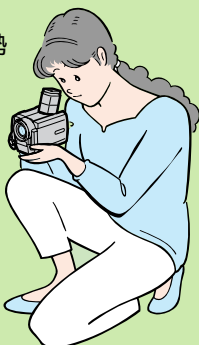
❸ **►ボタンを押して再生する。**

電源スイッチの位置によって、
ボタンの機能が変わります。

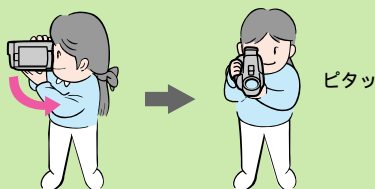
電源スイッチが「カメラ」のとき

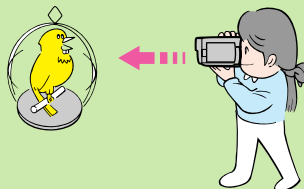
電源スイッチが「ビデオ」のとき

本機の機能が一覧できるデモンストレーションが見られます。（64ページ）

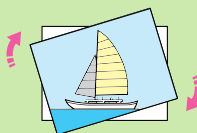
うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

撮影の基本

ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。

ズームは多用しない。

ズームスイッチをW側（Wide：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームスイッチをT側（Telephoto：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。

安定した画面にする。

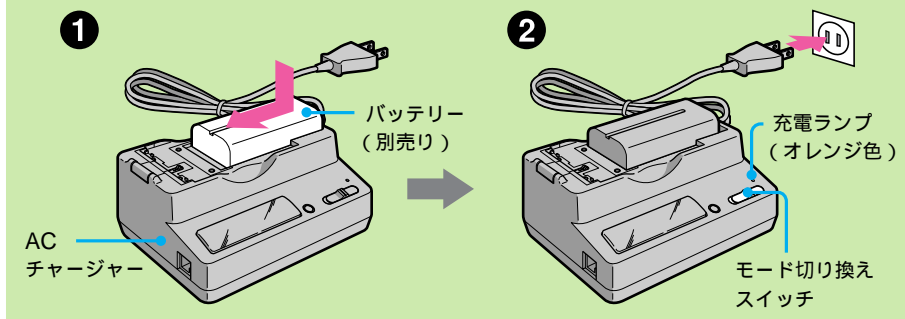
- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーまたは液晶画面の枠に合わせる。

- 三脚を使う。

  ネジの長さが6.5mm 未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

準備1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りの充電器が必要です。
別売りのACチャージャーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

充電する場合はACチャージャーのモード切り換えスイッチを充電側にしてください。カメラ/ビデオ側にしていると充電できません。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
”インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機は”インフォリチウム”バッテリー対応です。”インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM マークがついています。InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

❶ **バッテリーを押しながら矢印の方向にずらして付ける。**

❷ **コンセントにつなぎ、モード切り換えスイッチを「充電」にする。**

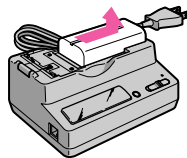
満充電

ACチャージャーの充電ランプが消え液晶表示窓のバッテリーマークに「FULL」が表示されるまで充電したときの状態

実用充電

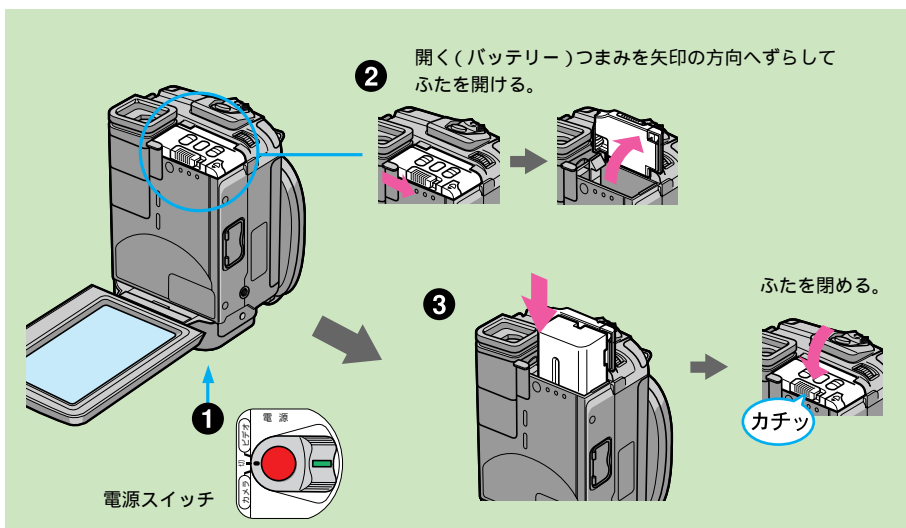
ACチャージャーの液晶表示窓のバッテリーマークが全て点灯するまで充電したときの状態

充電器から取りはずす

バッテリーを矢印の方向にずらす。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F550	約115分　（約55分）
NP-F530	約110分　（約50分）

使い切ったバッテリーをAC-V700で充電したときの時間です。

準備2 バッテリーを本体に入れる

誤動作を防ぐために
バッテリーを出し入れするときは必ず電源スイッチを「切」にしましょう。

液晶画面とビューファインダーの両方を使って撮影するとき（15ページ）
バッテリーの使用時間は液晶画面を使っての撮影時間より若干短くなります。

撮影中のバッテリー残量時間表示
”インフォリチウム”バッテリーをお使いのときは、連続撮影であと何分使えるかを液晶画面、またはファインダーに表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
液晶画面を閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

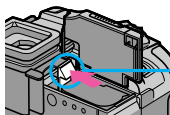
バッテリーを取り出すときは
バッテリー落下防止のため、ふたを上にして取り出してください。

❶ 電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

❷ ふたを開ける。

❸ バッテリーを入れ、ふたを閉める。

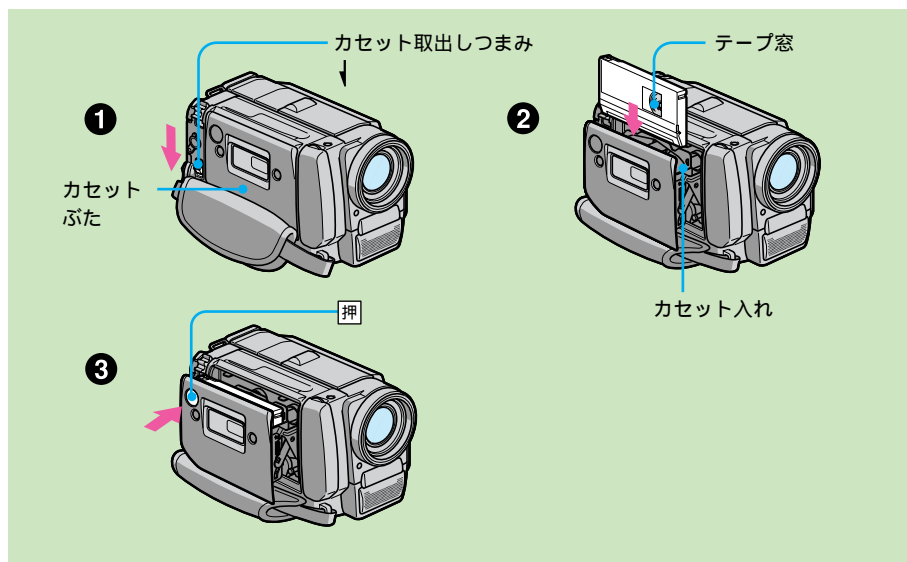
本体から取りはずす

ふたを開け、
取りはずしツメを押して、
取り出す。

使用時間

バッテリー	ビューファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F550	約165（140）分	約90（80）分	約130（115）分	約75（65）分
NP-F530	約130（115）分	約70（65）分	約100（90）分	約55（50）分

満充電してから使用したときの時間。（　）内は実用充電してからの時間。
* 25°Cで連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

準備

準備3 カセットを入れる

ご注意

- 押 マークボタン以外を押しているとカセットぶたが閉まらないことがあります。
- カセットぶたに指をはさまないようにご注意ください。
- カセットぶた開閉時はグリップベルトを下げて操作してください。

カセットメモリー付ミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために69ページをご覧ください。

1 カセット取出しつまみの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に開く。

2 カセット入れにカセットを入れる。

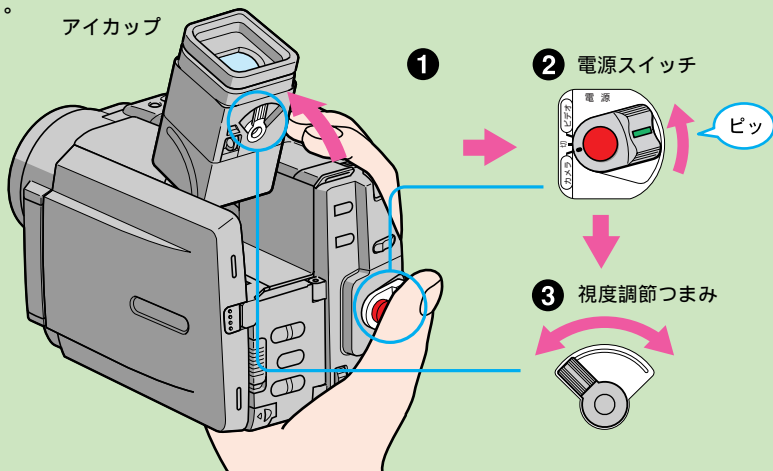
テープ窓を外側にして入れる。

3 カセットぶたの押マークボタンをまっすぐ押して閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順2で取り出す。

準備4 ファインダーを調節する

ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。

液晶画面を開いていると
ファインダーに画像は出ません。ただし、対面撮影（15ページ）中は液晶画面を開いてもファインダーに画像が出ます。

---

❶ **ビューファインダーを上げる。**

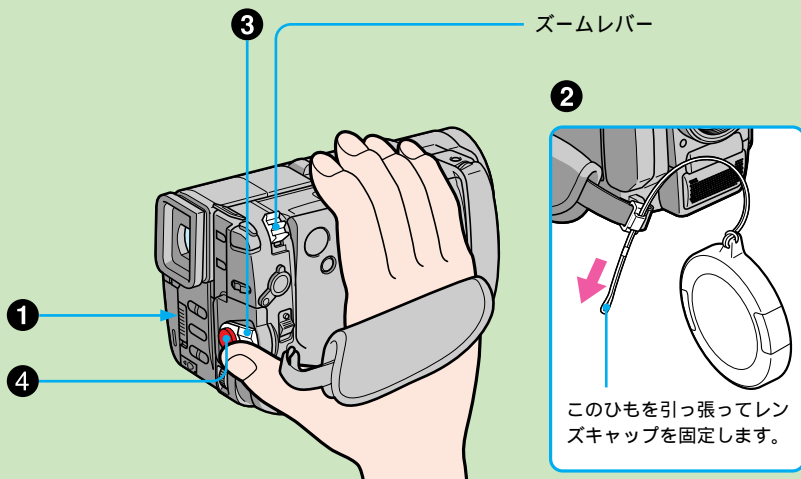
---

❷ **緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。**

---

❸ **視度調節つまみを動かす。**

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ご注意

ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

長時間録画したいときは

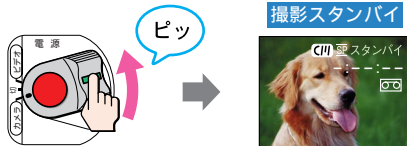
メニューの「録画モード」を「LP」にします（62ページ）。録画時間がSP（標準）モードの1.5倍になります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～4」（8～11ページ）をご覧ください。

❷ レンズキャップをはずす。

❸ 緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影をはじめるときは電源スイッチを一度「切」にしてから「カメラ」に戻します。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットメモリーの付いていないカセットは、カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換は電源スイッチを「切」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（17ページ）を使うと、きれいにつながります。

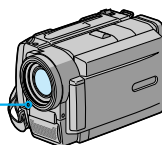
次のようなときは
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード(SP/LP)を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

タイムコードについて
ビューファインダー内と液晶画面にテープ走行時間が「0:00:00」（時：分：秒）と出ます。ビデオモードのときには「0:00:00:00」（時：分：秒：フレーム）と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。本機のタイムコードはドロップフレーム方式を採用しています。（詳しくは88ページ）

テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。また表示が出ない場合は、再生または録画が始まると数秒で表示が出ます。

❹ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

録画ランプ
撮影中に
点灯する。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

手ぶれ補正「入」のときに出る。(36ページ)

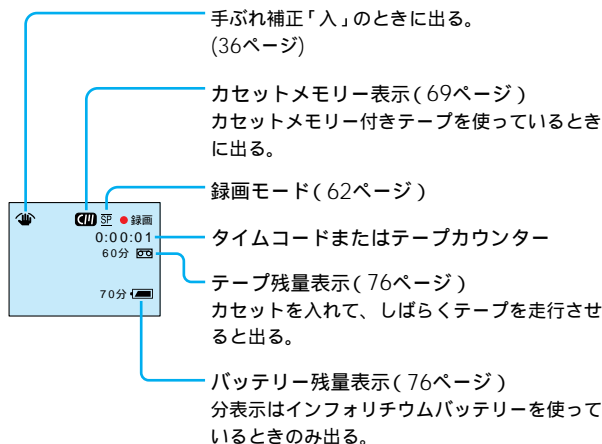
カセットメモリー表示（69ページ）
カセットメモリー付きテープを使っているときに出る。

録画モード（62ページ）

タイムコードまたはテープカウンター

テープ残量表示（76ページ）
カセットを入れて、しばらくテープを走行させると出る。

バッテリー残量表示（76ページ）
分表示はインフォリチウムバッテリーを使っているときのみ出る。

撮る

ご注意

- 「5秒」「⊥ 地面撮り防止」を選ぶと、フェーダーボタンは働きません。
- 「5秒」を選ぶと、テープ残量は表示されません。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき

画面に「•••••」が出て1秒たつごとに • が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには • がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

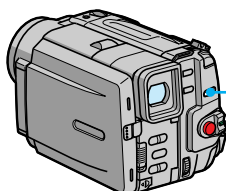
近くのものにピントがうまく合わないときは

ズームスイッチをW側に動かして広角にします。

ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて

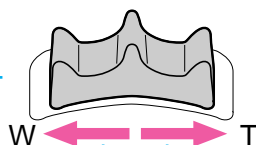
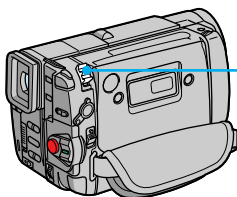
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は40倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（64ページ）。

スタート/ストップモードを選ぶ

⊔ ：スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

⊥ **地面撮り防止：**スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。録画を止め忘れて地面などを撮ってしまうのを防ぎます。

5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを押す。

使いすぎると見づらい作品になります。

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側がデジタルズームになります。

ご注意

液晶画面を開いているときはファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は

屋外では日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。

液晶バックライトの明るさは

メニューで変えることができます（61、62ページ）。バックライトの明るさを調整してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

対面撮影では

液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は

以下の機能は働きません。
- メニュー
- リモコンのゼロセットメモリーボタン
- タイトル

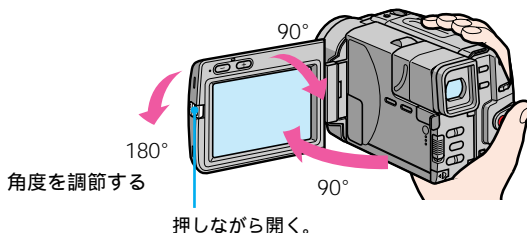
対面撮影中の表示

- 撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。
- その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

液晶画面を見ながら撮影する

液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

画面の明るさは

メニューで調整することができます（61、62ページ）。

前方向に180°まで、手前に90°まで回転し、角度を調節できます。

液晶画面を見せながら撮る－対面撮影

液晶画面を180°回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらビューファインダーをのぞいて撮影できます。本体を固定しておけば、液晶画面を見ながら自分も一緒に映ることもできます。

自分を撮るとき　　液晶画面に映る映像　　記録される映像

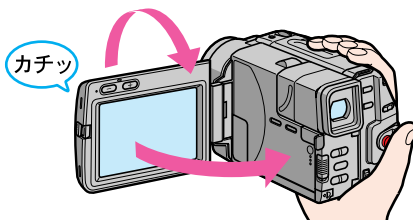
❶ [撮影スタンバイ中]に
液晶画面を180°回転させる。

対面撮影モード表示 ☺ が出る。

❷ **撮影する。**

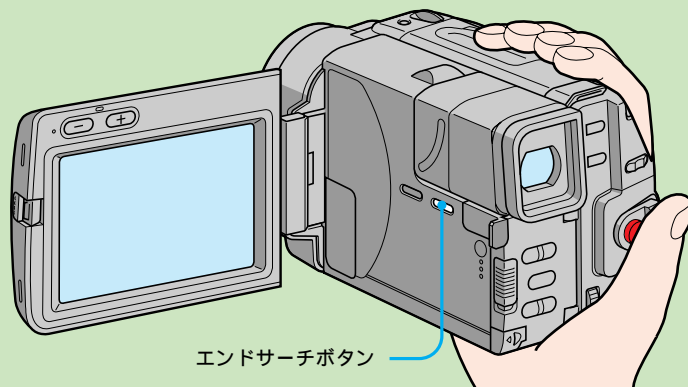
撮る

液晶画面を閉じる

液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。

撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「切」にする**
2 **カセットを取り出す。**
3 **バッテリーを取りはずす。**

最後に撮影した部分に戻る－エンドサーチ

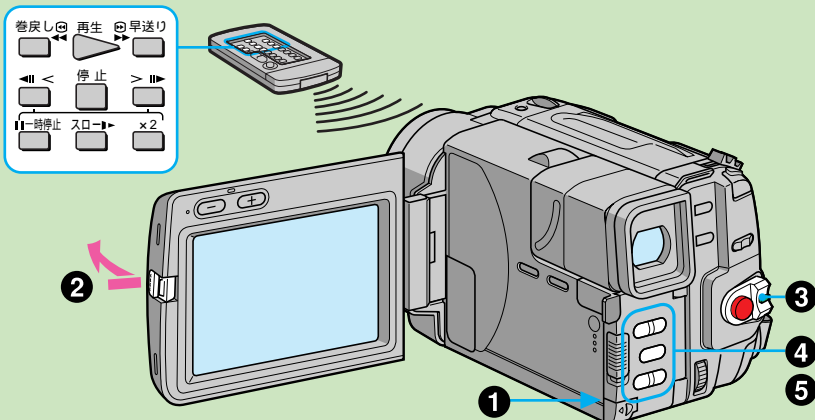
最後に撮影した画面からつなぎ撮りをするときや、再生後、撮影をするときに使います。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチが働きます。ただし、テープの冒頭や途中に一度無記録部分を作ると正しく動作しないことがあります。（74ページ）

カセットを入れてから一度も撮影していないとき
エンドサーチ機能は働きません。

[撮影スタンバイ中]に
エンドサーチボタンを押す。

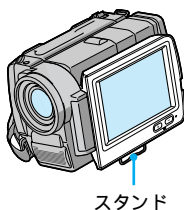
最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できます。

再生する

撮影したテープを液晶画面でもファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

ご注意

外国製のビデオソフトのなかには、本機で再生できないものもあります。これはカラーテレビ方式が異なるためです。

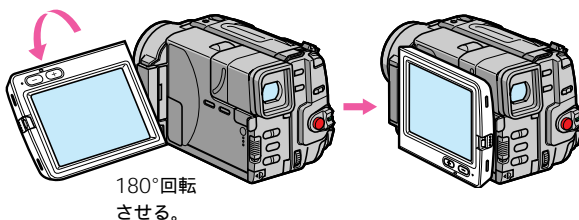
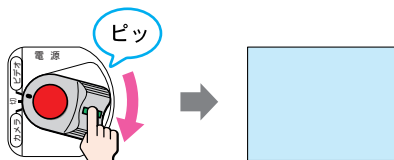
液晶画面を閉じると
スピーカーから音は出ません。液晶画面を外側に向けて閉じているときは音が出ます。

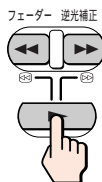
液晶画面が見にくいときは
スタンドを立てます。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ 液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

❸ 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。

❹

巻き戻しが始まる。

❺ ►再生ボタンを押す。

画像が映る。

液晶画面での再生時間

バッテリー	再生時間
NP-F550	約135（120）分
NP-F530	約105（95）分

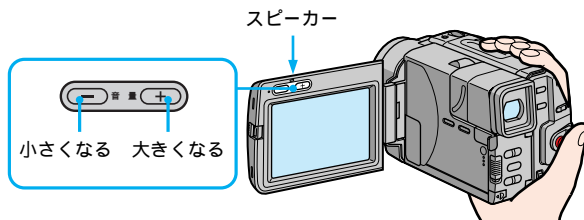
満充電してから使用したときの時間。（　）内は実用充電してからの時間。低温では使用時間が短くなります。

メニューでパネルバックライトを「明るい」にしたときのバッテリーの使用時間は液晶画面を使っての再生時間より約1～2割程度短くなります。

ヘッドホンで音を聞くには
ヘッドホンを ∩（ヘッドホン）端子につなぎます。音量＋／－ボタンで音量調節ができます。
このとき、スピーカーから音は出ません。

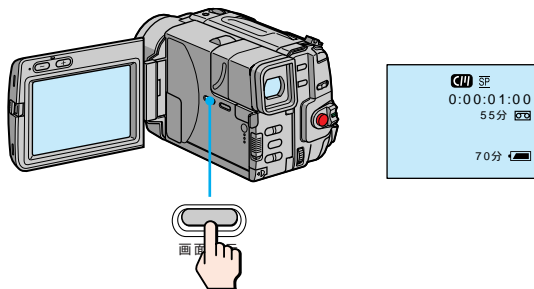
タイトルが表示されているときは
画面表示が消えます。

音量を調節する

音量＋／－ボタンを押して調節する。

タイムコードなどの表示を出す－画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出ます。

消すときは、もう1度押します。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチが働きます。（69ページ）

一時停止（静止画）について
- 5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。
- 前の画像が残ることがあります。

スロー再生について
本機にはスローの画像もなめらかに再生する機能があります。ただしDV入力/出力端子から出力される信号にはこの機能は働きません。

変速再生中は
音声は出ません。

いろいろな再生

止める
[再生中]に■停止ボタンを押す。

静止画を見る
[再生中]に❚❚一時停止ボタンを押す。
もう1度押すか、►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする
[停止中]に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す
[停止中]に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する
[再生中]にリモコンの＜ボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

ひとコマずつ画像を見る（コマ送り再生）
[一時停止中]にリモコンの❚❚►（コマ送り）または◄❚❚（コマ送り）ボタンを押す。►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で画像を見る（倍速再生）
[再生中]にリモコンの×2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、リモコンの＜ボタンを押してから×2ボタンを押す。►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする
[再生中]に►► 早送りボタン/◄◄ 巻戻しボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）
[早送り中]または[巻き戻し中]に►►早送りボタン/◄◄巻戻しボタンを押し続ける。離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る
[再生中]にリモコンのスロー❚►ボタンを押す。
逆方向にスローで再生するときはリモコンの＜ボタンを押してからスロー❚►ボタンを押す。►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

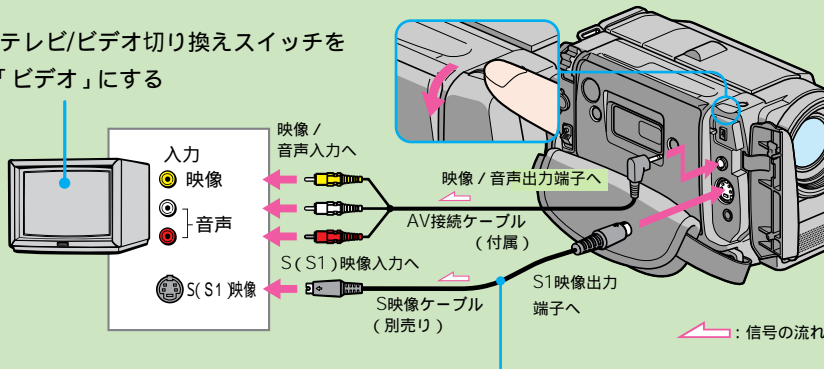
最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）
[停止中]にエンドサーチボタンを押す。最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACチャージャーを使ってコンセントからとることをおすすめします（60ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

入力
映像
音声
S（S1）映像

映像／音声入力へ
映像／音声出力端子へ
AV接続ケーブル（付属）
S（S1）映像入力へ
S映像ケーブル（別売り）
S1映像出力端子へ
：信号の流れ

S（S1）映像端子付きテレビにつなぐ場合、この接続を行うと再生画像がより鮮明になります。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。
（この場合、AV接続ケーブルの黄色いプラグはつなぎません。）

お手持ちのテレビにS1映像入力端子がついているときは
本機のS1映像出力端子とつなぐと、本機で撮影したワイド画像を映そうとすると自動的にワイド画像に切り換わります。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし、画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

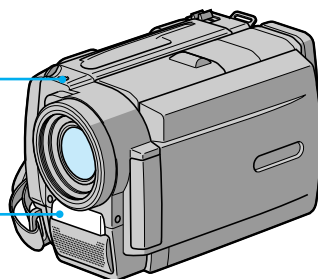
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声でお聞きになりたいときは別売りの接続コードRK-C165をお使いください。

ケーブルを使わずに見る−LASER AVLINK

別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでおくと、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。

1 テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。

2 テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

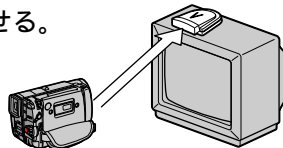
3 LASER AVLINK ボタンを押す。

ボタンのランプが点灯する。

4 ►再生ボタンを押す。

再生が始まる。

5 本機のLASER AVLINK発光部とIRレシーバーの向きを合わせる。

再生中の画像がきれいにテレビに映るようにする。

LASER AVLINKを解除する

LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

電源スイッチを「切」にすると

自動的に解除されます。

LASER AVLINK（レーザーエーブイリンク）とは

マークのある LASER AVLINK 対応の機器間で赤外線による映像と音声の送受信をおこなうシステムです。LASER AVLINK はソニー株式会社の商標です。

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定して、テレビの主電源を入れておくと、下記の2つの方法で自動的にテレビの電源を入れられます。
  —LASER AVLINK発光部をテレビのリモコン受光部に向けて、LASER AVLINKボタンを押す。
  —LASER AVLINK ボタンを点灯させて、►再生ボタンを押す。
- TV入力切り換えについて
  本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子（ビデオ1/2/3）と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります。（テレビによっては、切り換わるときに一瞬画像や音声がとぎれることがあります。）
- 機種によっては、操作できないことがあります。

LASER AVLINKを使うと

バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときは、LASER AVLINKボタンを解除しておいてください。

本機の電源スイッチを「切」にすると

LASER AVLINKが自動的に解除されます。

コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると

赤外線の発光が妨げられることがあります。

見る

フェードイン・フェードアウトする

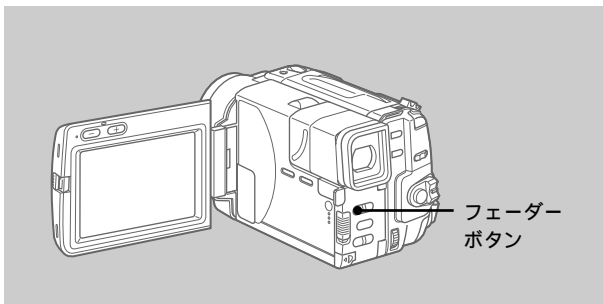
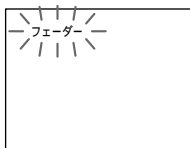
白画面やモザイク画面から徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）する演出ができます。

例：白画面からのフェードイン

例：モザイク画面へのフェードアウト

こんなときに使うと効果的です
- 大きな場面転換（フェードアウト・フェードイン）
- 物語の始めなど（フェードイン）
- 一日の終わりなど（フェードアウト）
- 余韻を残して終わる（フェードアウト）

フェードを多用すると
被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。

次のとき、フェードイン・フェードアウトはできません
- スタート/ストップモードが「⏚ 地面撮り防止」か「5秒」のとき
- フォト撮影のとき
- タイトル予約中、表示中
- メニュー表示中

❶ • フェードインは[撮影スタンバイ中]に
• フェードアウトは[撮影中]に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダー表示を出す。

押すたびに変わります。
フェーダー → モザイクフェーダー → （表示なし）

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**

フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除されます。

フェードイン・フェードアウトを解除する

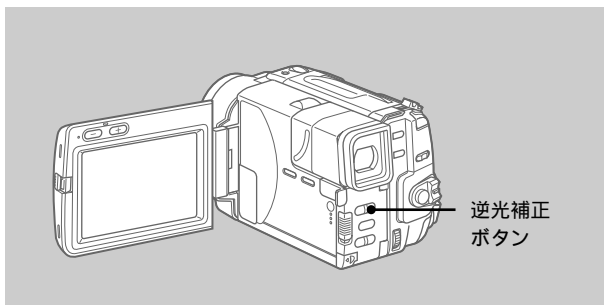
フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート/ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、表示を消す。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき

明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。

被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

横長の画面にする – ワイドTVモード

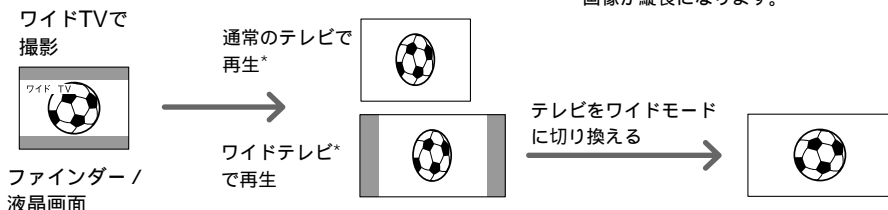
ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

*画像が縦長になります。

ファインダー／液晶画面

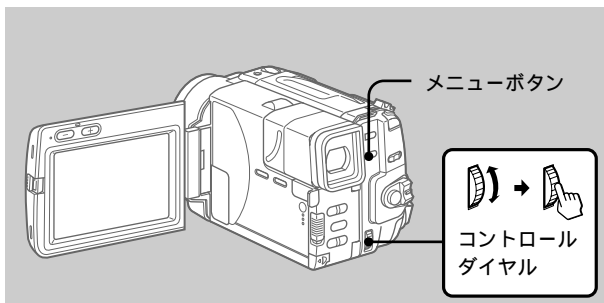
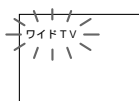
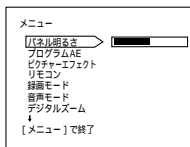
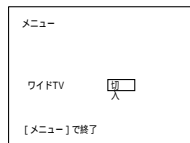
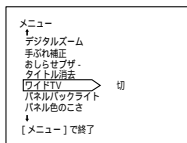
通常のテレビで再生*

ワイドテレビ*で再生

ワイドTVモードで撮影すると
ファインダーと液晶画面では上下に黒い帯が出て、ワイド画面になります。通常のテレビで再生すると画像は縦長になります。

テレビの接続について
下記の接続のとき、「ワイドTVモード」で記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS1映像入力端子に接続したとき。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。

ワイドTVモードを解除するときは
必ず「撮影スタンバイ」にしてください。

ワイドTVモードにすると
画面にワイドTV表示が出ます。

❶ [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して、「ワイドTV」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ コントロールダイヤルを回して、「入」を選び、ダイヤルを押す。

❹ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

ワイドTVモードを解除する

手順3で「切」を選び、コントロールダイヤルを押す。

静止画を撮る–フォト撮影

通常のスチルカメラで撮影するように、静止画を録画できます。60分のテープならSPモードで約510枚撮れます。

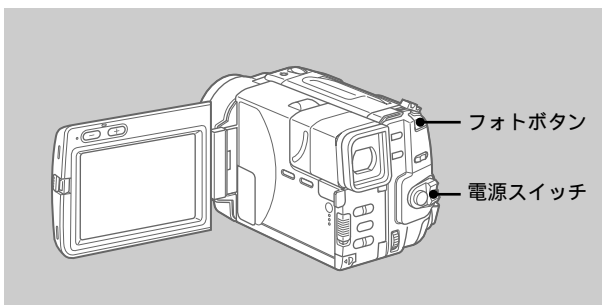
- 後からテレビやモニターで記念写真のように見たいとき
- パソコンに静止画を取り込みたいとき
- ビデオプリンターでプリントしたいとき、など。

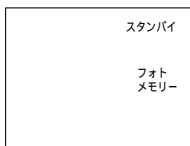
ご注意

静止画を記録中は電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

カメラ録画中にフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。軽く押して画像を確認することはできません。
画像が約7秒間静止画で記録された後、撮影スタンバイになります。

動きのある画像をフォト撮影で撮影すると
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。軽く押して画像を確認することはできません。

❶ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「カメラ」にする。

❷ フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

画像が静止画になり、フォトメモリー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

❸ フォトボタンを強く押し込む。

録画中は「フォト録画」が点滅する。

ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中にファインダーまたは液晶画面に映る画像は動画となります。

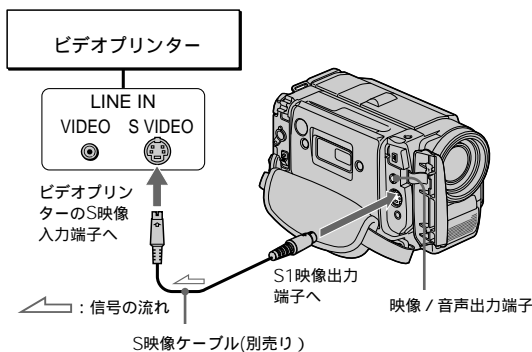
ビデオプリンターにS映像入力端子がついているときは
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画をパソコンに取り込む

本機と別売りのDV静止画キャプチャーカードキット DVBK-CW200（PC/AT互換機用）やDV静止画キャプチャーボードキット DVBK-W2000（PC/AT互換機用）、DVBK-M2000（Macintosh用）を使うと、パソコンに静止画を取り込めます。

詳しくはDV静止画キャプチャーカードキットまたはDV静止画キャプチャーボードキットの取扱説明書をご覧ください。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。

ビデオプリンターにS映像入力端子がないときは、付属のAV接続ケーブルを本機の映像／音声出力端子につないで、黄色いプラグをビデオプリンターの映像入力端子につなぎます。

ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

パステル
→淡い色のパステル画のように

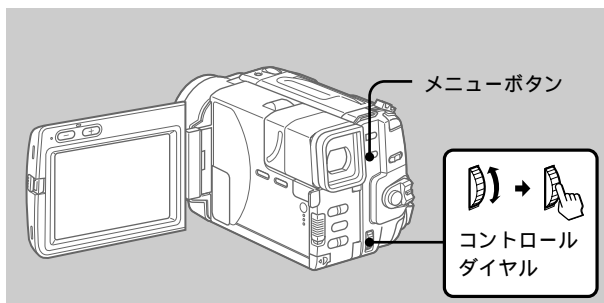
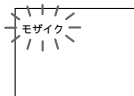
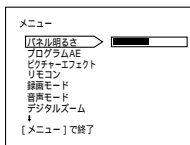
ネガアート
→写真のネガフィルムのように

ソラリ
→明暗を際だたせたイラストのように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

モノトーン　→白黒に
セピア　→古い写真のような色合いに

電源スイッチを「切」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

ピクチャーエフェクトを選ぶと
画面にピクチャーエフェクト表示が出ます。

1 [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**

❷ コントロールダイヤルを回して、「ピクチャーエフェクト」を選び、ダイヤルを押す。

❸ コントロールダイヤルを回して希望のピクチャーエフェクトを選び、ダイヤルを押す。

次の順で変わります。

切↔パステル↔ネガアート↔セピア↔モノトーン↔ソラリ↔モザイク

❹ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

ピクチャーエフェクトを解除する

手順3で「切」を選び、コントロールダイヤルを押す。

画像の明るさを調節する

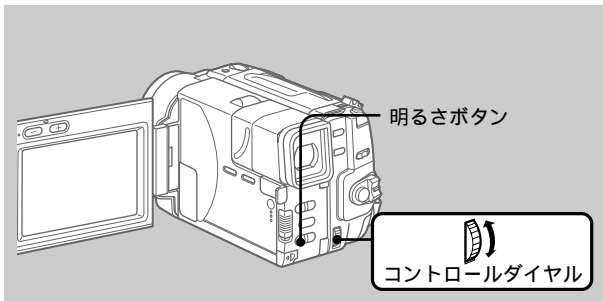
画像をお好みの明るさに手動調節し、固定できます。

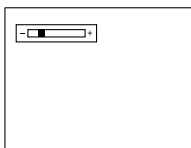
- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき、など。

ご注意

明るさ調節をしているときは逆光補正は働きません。

明るさを手動調節しているとき
メニューでプログラムAEモードを選ぶと明るさ調節は自動に戻ります。

コントロールダイヤルは
両方向へ回ります。回転が止まる位置はありません。

1 [撮影中]または[撮影スタンバイ中]に**明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。

2 **コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

明るさボタンを押して、明るさ表示を消す。

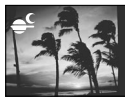
目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライトモード
舞台や結婚式など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。

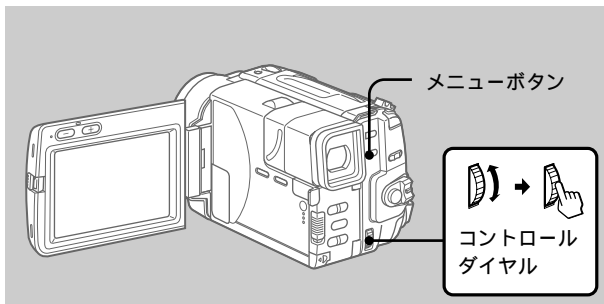
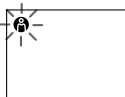
スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のブレを少なくします。

ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに再現します。

風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影するときに、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

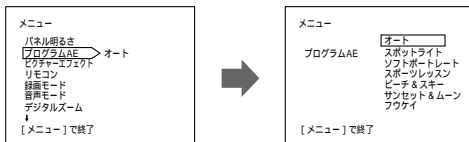
ご注意

- 次のモードでは近くのもの（距離50cm以内）にピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  －スポットライトモード
  －スポーツレッスンモード
  －ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景（距離10m以上）のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  －サンセット＆ムーンモード
  －風景モード

プログラムAEモードを選ぶと
画面にプログラムAEモード表示が出ます。

❶ [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**

使いこなす―撮影―

プログラムAEモードで撮影中でも
明るさを調節できます。

❷ コントロールダイヤルを回して、「プログラムAE」を選び、ダイヤルを押す。

❸ コントロールダイヤルを回して希望のプログラムAEモードを選び、ダイヤルを押す。

次の順で変わります。

オート←→スポットライト←→ソフトポートレート←→スポーツレッスン←→ビーチ＆スキー←→サンセット＆ムーン←→フウケイ

❹ メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

プログラムAEを解除する

手順3で「オート」を選び、コントロールダイヤルを押す。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピントをあわせることができます。

- 自動でピントが合いにくいとき
- ピントを固定したいとき
- 手前の花から後方の人物へと、意図的にピントの合う位置を変えたいときなど

こんなときに使うと効果的です

- 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
- 被写体が横じまだけのもののとき
- 被写体と背景とのコントラストが低いとき

ズームのときにもピントがずれないようにするには

ズームをT側（望遠）にしてからピントを合わせます。ただし、デジタルズームを使用するとピントが合わせにくくなります。

近づいて大きく撮るとき

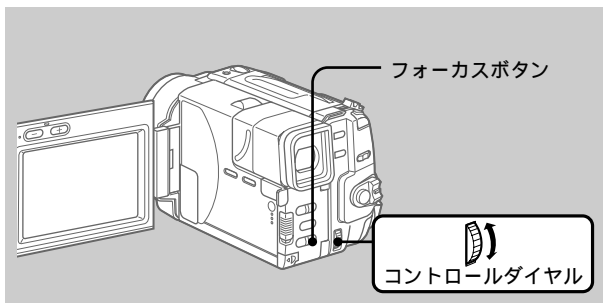
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

次のようなときには

手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

- 暗い室内で撮るとき
- 明るい野外で動きの激しいものを撮るとき

が次のマークになるとき

- ピントが無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをできないとき。

❶ [撮影中]または[撮影スタンバイ中]に **フォーカスボタンを押す。**

手動ピント合わせ表示が出る。

❷ **コントロールダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカスボタンを押して、手動ピント合わせ表示を消す。

手振れ補正を解除する

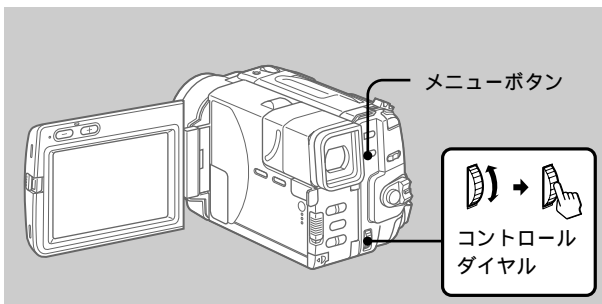
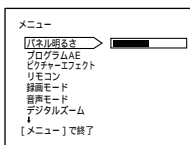
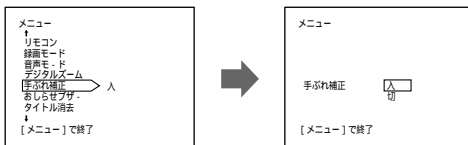
手振れ補正はハンディカムを手に持って撮るときに効果があります。

三脚に取り付けるなど手振れの心配がないとき。

ご注意

手振れ補正が「入」になっていても、手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。

手振れ補正を解除すると
ハンディカムを左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このときは手振れ補正表示"✋"が出ません。

次の別売りのレンズを取り付けると手振れ補正が効きにくくなります
- テレコンバージョンレンズ
- ワイドコンバージョンレンズ

1 [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押し、メニュー画面を出す。**

2 コントロールダイヤルを回して、「手ぶれ補正」を選び、ダイヤルを押す。

3 コントロールダイヤルを回して、「切」を選び、ダイヤルを押す。

4 メニューボタンを押して、メニュー画面を消す。

手振れ補正を働かせるときは

手順3で「入」を選び、コントロールダイヤルを押す。

見たい場面にすばやく戻す － ゼロセットメモリー

カウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。リモコンでのみ操作できます。

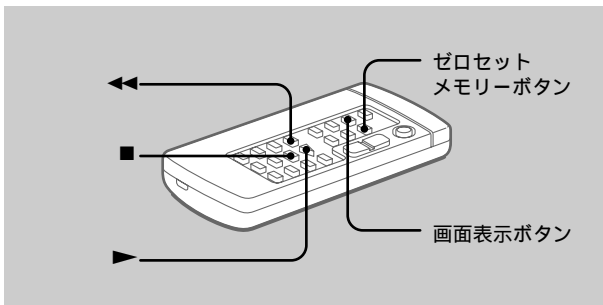
再生中に、後でもう1度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
- テープの途中に記録されていない部分があるとゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

撮影スタンバイ中にも操作できます

ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。

撮り直したい部分の開始点まで巻き戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。

❶ [再生中]に、**画面表示ボタンを押す。**

❷ **後で見たい場面でゼロセットメモリーボタン押す。**

カウンター値が「0:00:00」になる。

ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら、■停止ボタンを押す。**

❹ **◄◄巻戻しボタンを押す。**

カウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止し、カウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**

もう1度再生される。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。リモコンでのみ操作できます。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。

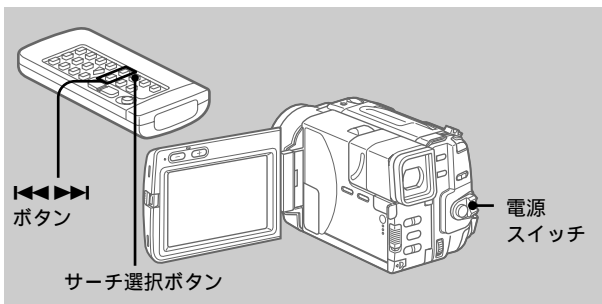
■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

画面上の短いカーソルは
前回頭出しした位置を表します。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
日付サーチが正しく働かないことがあります。

カセットメモリーを使って頭出しする

カセットメモリー付きカセットでのみできます。（69ページ）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（63ページ）

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ サーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

日付サーチ画面が出る。

```
日付サーチ
  1  98年  7月15日
  2  98年  8月15日
  3  98年  9月25日
  4  98年10月25日
  5  98年12月  5日
  6  99年  2月  5日
```

4 ⏮ または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

1 電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 メニューで「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（63ページ）

3 サーチ選択ボタンを押して、日付サーチを選ぶ。

4 ⏮ または⏭ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

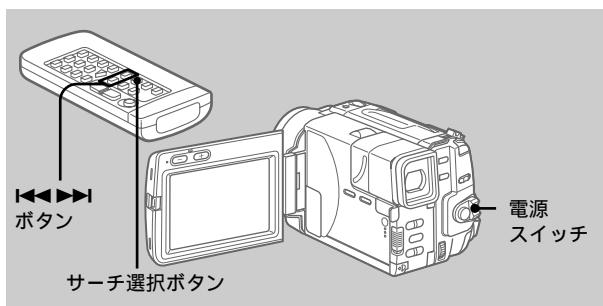
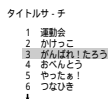
タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます(タイトルサーチ)。(69ページ)
リモコンでのみ操作できます。

タイトルを入れた場面を探したいとき

カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

タイトルを入れるには
53ページをご覧ください。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。(63ページ)

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ サーチ選択ボタンを押して、タイトルサーチを選ぶ。

タイトルサーチ画面が出る。

❹ ⏮ または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す – フォトサーチ／フォトスキャン

フォト撮影で撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。

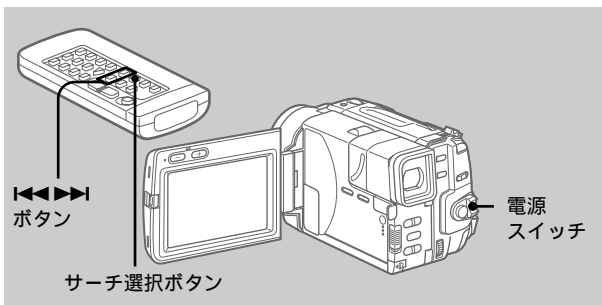
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。

リモコンでのみ操作できます。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するときなど。

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
フォトサーチが正しく働かないことがあります。

カセットメモリーを使って静止画を探す – フォトサーチ

カセットメモリー付きカセットでのみできます。（69ページ）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ メニューで「Cメモリーサーチ」を「入」にする。（63ページ）

お買い上げ時は「入」に設定されています。

❸ サーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。

フォトサーチ画面が出る。

```
フォトサーチ

  1  98年 7月15日   7:00AM
  2  98年 8月15日   4:00PM
  3  98年 9月25日   6:00PM
  4  98年10月25日   8:00PM
  5  98年12月 5日   5:00PM
  6  99年 2月 5日  10:00AM
  ⬇
```

4 **I◀◀ または▶▶Iボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。**

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す
ー フォトサーチ

1 **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

2 **メニューで「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（63ページ）**

3 **サーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。**

4 **I◀◀ または▶▶Iボタンを押す。**

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（I◀◀）または後ろ（▶▶I）の場面が頭出しされる。

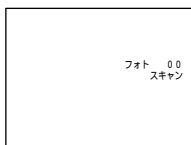
サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

静止画を次々に出して探すーフォトスキャン

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ サーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。

フォトスキャン画面が出る。

❸ ⏮ または⏭ボタンを押す。

静止画が順に5秒ずつ表示される。

フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

撮影日時とカメラデータを画面に出す – データコード

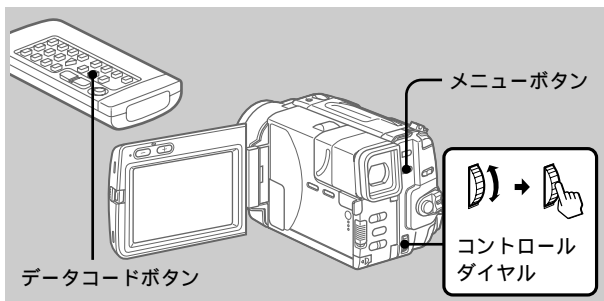
本機は、撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能)。再生時に希望の場所で出したり消したりできます。

リモコンでのみ操作できます。

再生中に撮影したときの日付・時刻やカメラデータを確認したいとき。

次のときは、-- -- -- を表示します。
- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ

データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

[再生中]に、**リモコンのデータコードボタンを押す。**

押すたびに次のように表示が変わります。

「日付表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

日付の表示

カメラデータの表示

カメラデータ表示を出さないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。

データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

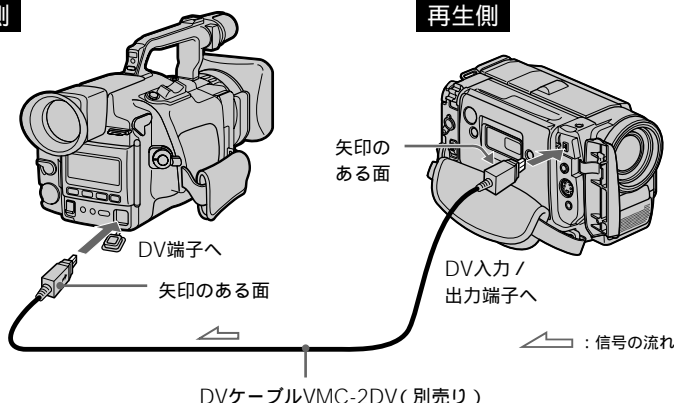
「日付表示」→（表示なし）

他のビデオへ録画する – ダビング編集

DV接続ケーブルでつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のDVケーブルVMC-2DV（別売り）でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。

DVケーブルで本機と接続できるのは1台だけです

本機は録画側としても使えます

- DVケーブルをつなぎかえなくても録画機または再生機として使えます。録画機として使うときは、液晶画面やファインダーに「DV入力」の表示が出るのを確認してください。両方の機器に出ることもあります。
- リモコンの録画ボタンでのみ操作できます。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

本機を録画機として使うときは
本機を録画機としてデジタルダビングしているときのモニターに色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

1 本機に録画済みのカセットを、録画機に録画用のカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 本機のカセットを再生し、録画機に録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。

4 録画機を録画一時停止にする。

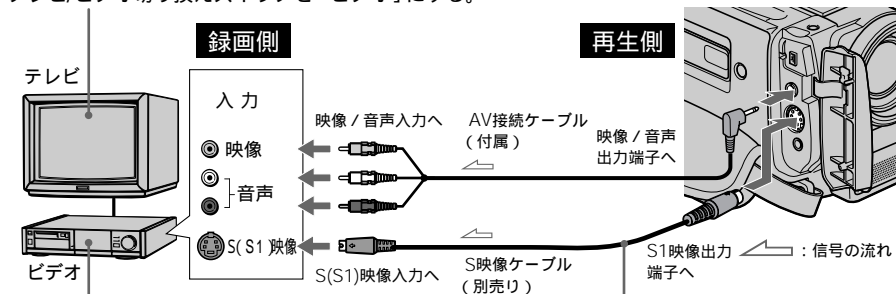
5 本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。

使いこなす—編集—

次のページへつづく

AV接続ケーブルでつなぐ

本機と他のビデオ機器をAVケーブルでつないで、ダビング・編集ができます。
AVケーブルのみでつなぐ場合は、本機は再生機としてのみ使用できます。

相手側のビデオはDV方式だけでなく、以下のどの方式のビデオでも使えます。
8、Hi8、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、
β、ED Beta

音声入力端子がひとつ（モノラル）のビデオにつなぐときは
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

次のボタンを押して画面の表示を消してからダビングしてください。
- 画面表示ボタン
- データコードボタン（リモコン）
- サーチ選択ボタン（リモコン）

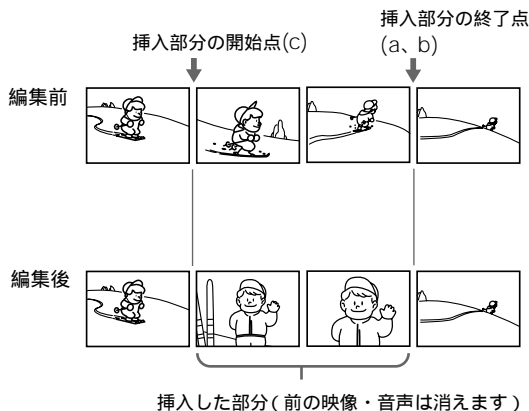
消さないでダビングするとテープに記録されてしまいます。

より精度の高い編集をするには
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能のあるビデオデッキと本機をLANCケーブルでつなぎます。

1. **本機に録画済みのカセットを、録画機に録画用のカセットを入れる。**
2. **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**
3. **本機のカセットを再生し、録画機に録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。**
4. **録画機を録画一時停止にする。**
5. **本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。**

記録済みテープに画像と音声を挿入する

録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像や音声を挿入できます。
リモコンでのみ操作できます。

47ページの接続をし、他機に挿入したい部分の入ったテープを入れておきます。

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えますのでご注意ください。

新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

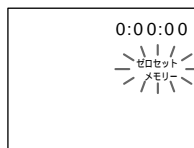
❷ 他機（再生側）で、挿入したい部分の始めを探し、再生一時停止状態にする。

❸ 本機で、挿入部分の終了点を探し、再生一時停止状態にする(a)。

❹ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す(b)。

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、カウンター値が「0:00:00」になる。

使いこなす—編集—

次のページへつづく

❺ 本機で、挿入部分の開始点を探し、録画一時停止状態にする(c)**。**

❻ 本機と他機（再生機）の一時停止ボタンを同時に押す。

本機の挿入部分に、新たに再生側の映像と音声が記録され始める。

終了点（カウンター値「0:00:00」）付近で、自動的に本機は停止して、録画が終わり、ゼロセットメモリーが解除されます。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順2からやり直す。

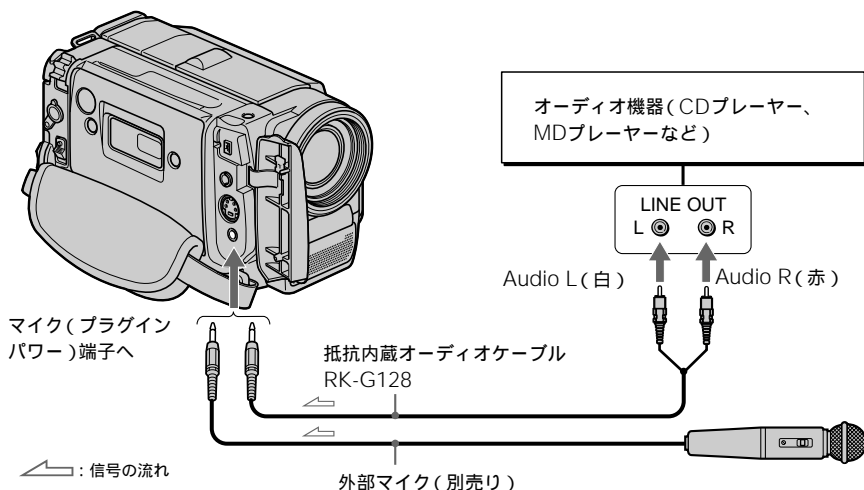
途中で止める

■停止ボタンを押す。

記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

オーディオ機器またはマイクをつないで録音します。

オーディオ機器とつないで、録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。

リモコンでのみ操作できます。

ご注意

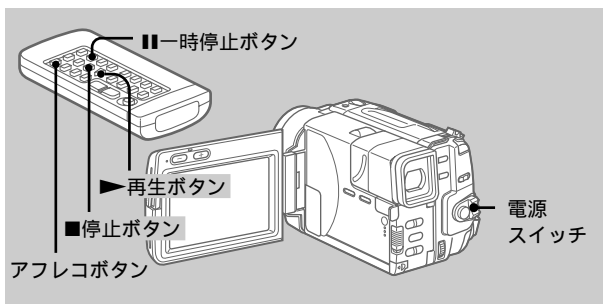
映像／音声出力端子にテレビなどをつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。テレビかヘッドホンで確認してください。

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません（64、88ページ）。
- マイク端子に何も接続していないときは、内蔵マイクからアフレコされます。
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- DV端子を使って再生一時停止の画像をダビングした部分にはアフレコできません。
- DV端子からはアフレコできません。

❶ 本機に録画済みカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

次のページへつづく

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順2からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（DCR-TRV5を含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

❸ アフレコの開始点を決める。

リモコンの▶再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところでリモコンの❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ リモコンのアフレコボタンを押す。

画面右上に緑色の ⊖❚❚ マークが出ます。

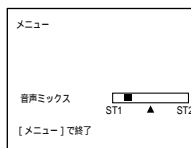
❺ リモコンの❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録します。撮影時の音声（ステレオ1）は出ません。
アフレコ中は画面右上に赤色の ⊖ マークが出ます。

❻ アフレコを終了したいところでリモコンの■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューの音声ミックスで撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音が出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

カセットメモリー付きカセットを使えば撮影中、または撮影後にタイトルを入れられます（インデックスタイトラー機能）。再生したときにタイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。

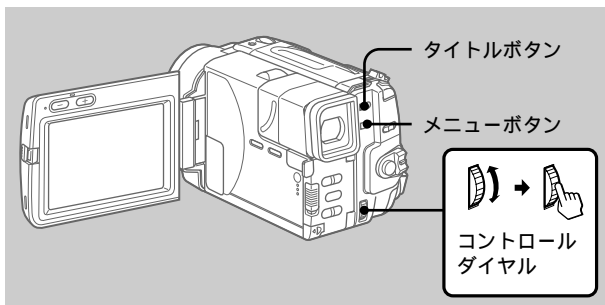
あらかじめ記憶している8種類のタイトルと1種類の自分で作ったタイトルの中から内容にあったものを選べます（タイトルを作る→56ページ）。

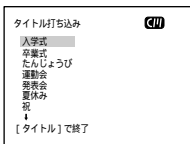
タイトルの種類
次のタイトルが順に表示されます。自分で作ったタイトルがある場合は、「オリジナルタイトル作成」の上に出ます。
- 入学式
- 卒業式
- たんじょうび
- 運動会
- 発表会
- 夏休み
- 祝
- 完
- オリジナルタイトル作成

タイトル表示中は
フェードイン・フェードアウトできません。

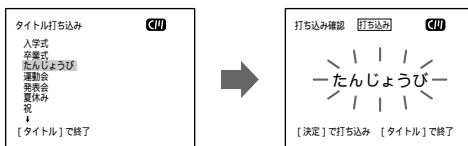
テープの無記録部には
タイトルを入れられません。

録画した部分の間に無記録部のあるテープでは
タイトルが正しく表示されないことがあります。

本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックス信号として誤検出されることがあります。

❶ タイトルボタンを押す。

タイトル選択画面が出る。

❷ コントロールダイヤルを回して希望のタイトルを選び、ダイヤルを押す。

タイトルが点滅する。

次のページへつづく

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なタイトルなどを消去してください。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

「色」は次の順で変わります
しろ←→きいろ←→みずいろ←→みどり←→むらさき←→あか←→あお

「サイズ」は次の順で変わります
ちいさい←→おおきい
「おおきい」を選んだとき、画面内に入るのは12文字までです。13文字以上のタイトルは字が欠けてしまいますので、「ちいさい」を選んでください。

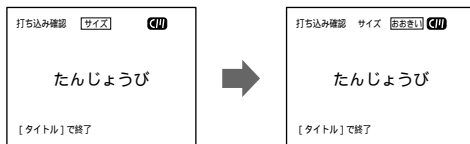
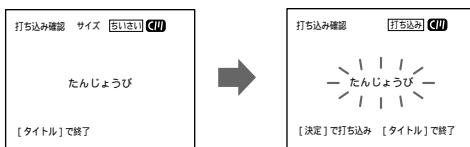
「位置」の調節は
「サイズ」で「ちいさい」を選んでいるときは9段階、「おおきい」を選んでいるときは8段階に変えられます。

タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。

❸ 色、サイズ、位置を選択する。

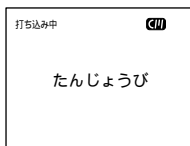
表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順4にすすむ。

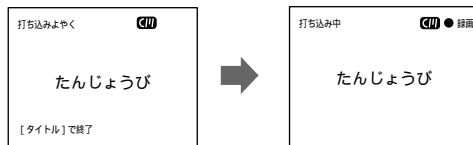
1 コントロールダイヤルを回して「色」または「サイズ」、「位置」を選び、ダイヤルを押す。

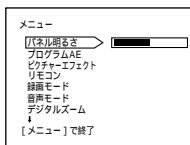
選べる項目が出る。

2 コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❹ タイトルを確認し、コントロールダイヤルを押す。

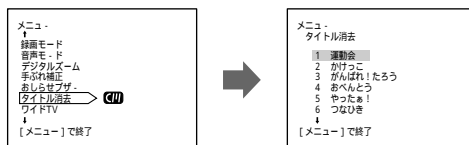
[再生中]、[再生一時停止中]、[撮影中]のとき

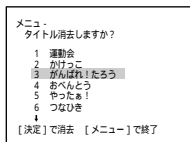
「打ち込み中」の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

[撮影スタンバイ中]のとき

「打ち込みよやく」の表示が出る。スタートストップボタンを押して撮影を始めると同時に「打ち込み中」の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

1つのカセットに記憶できるタイトルは
平均5文字で20です。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。
- 日付データ　　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

タイトルを消す

❶ メニューボタンを押す。

❷ コントロールダイヤルを回して「タイトル消去」を選び、ダイヤルを押す。

タイトル消去画面が出る。

❸ コントロールダイヤルを回して消したいタイトルを選び、ダイヤルを押す。

「タイトル消去しますか」の表示が出る。

❹ 消去するタイトルを確認し、コントロールダイヤルを押す。

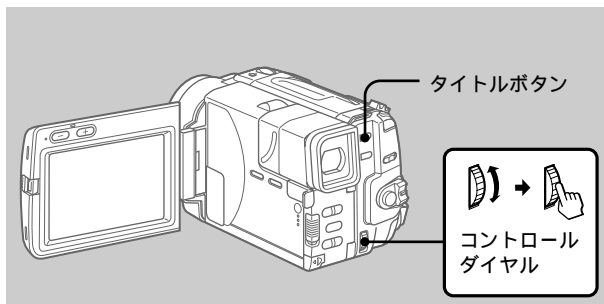
メニュー画面を消す

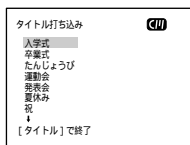
メニューボタンを押す。

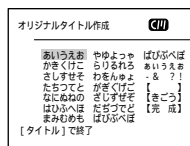
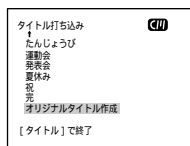
タイトルを作る

自分で20文字以内でタイトルを作って本機に記憶できます。一度に記憶できるタイトルは1種類です。

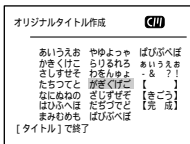
カセットメモリーのついたカセットでのみできます。

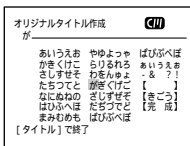
タイトル作成に5分以上かかるとき
カセットが入っていて撮影スタンバイが5分以上続くと、自動的に電源が切れます。電源が切れたときは一度電源スイッチを「切」にしてから「カメラ」にします。それまでに作成したタイトルは残っています。

❶ タイトルボタンを押す。

タイトル選択画面が出る。

❷ コントロールダイヤルを回して「オリジナルタイトル作成」を選び、ダイヤルを押す。

オリジナルタイトル作成画面が出る。

[きごう]を選ぶと
アルファベットと記号などが選べる画面が出ます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
←を選びます。一番後ろの文字が消えます。

❸ コントロールダイヤルを回して希望の文字が入っている部分を選び、ダイヤルを押す。

❹ コントロールダイヤルを回して希望の文字を選び、ダイヤルを押す。

次の文字に移ります。

❺ 必要なだけ手順3、4を繰り返す。

❻ コントロールダイヤルを回して[完成]を選び、ダイヤルを押す。

タイトルが記憶される。

作成したタイトルを変更する

タイトル選択画面で変更したいオリジナルタイトル作成を選ぶ。← を選んで一文字ずつ消し、最初から文字を選び直す。

カセットになまえを付ける – カセットラベル

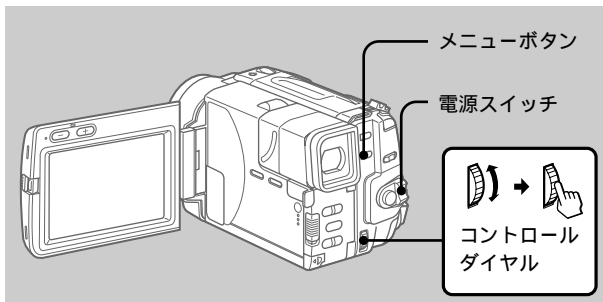
カセットメモリー付きカセットには、カセットに自分で10文字までのなまえを記憶させられます。

なまえを付けるとカセットを入れ、電源を入れたときに約10秒間、自動的にカセットのなまえがファインダーや液晶画面、テレビ画面に出ます。

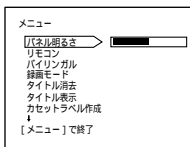
誤消去防止状態のカセットでは
カセットになまえをつけられません。
誤消去防止ツマミを元に戻してください。

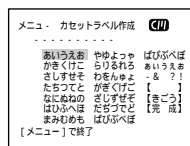
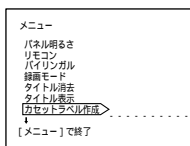
カセットメモリーの容量がいっぱいのとき
CM マークが出ます。そのカセットに入っているタイトルを消せば、カセットになまえを付けられる容量ができます。

タイトルが入れてあると
カセットのなまえが表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

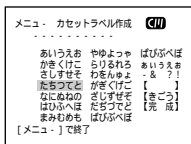
文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

❶ なまえを付けたいカセットを入れる。

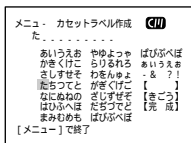
❷ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❹ コントロールダイヤルを回して「カセットラベル作成」を選び、ダイヤルを押す。

カセットラベル作成画面が出る。

[きごう]を選ぶと
アルファベットと記号が選べます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
←を選びます。一番後ろの文字が消えます。

❺ コントロールダイヤルを回して希望の文字が入っている部分を選び、ダイヤルを押す。

❻ コントロールダイヤルを回して希望の文字を選び、ダイヤルを押す。

次の文字に移ります。

❼ 必要なだけ手順5、6を繰り返す。

❽ コントロールダイヤルを回して「完成」を選び、ダイヤルを押す。

カセットラベルが記憶される。

作成したカセットラベルを消す

上の手順5で←を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

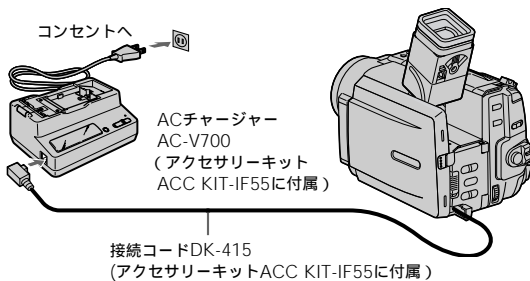
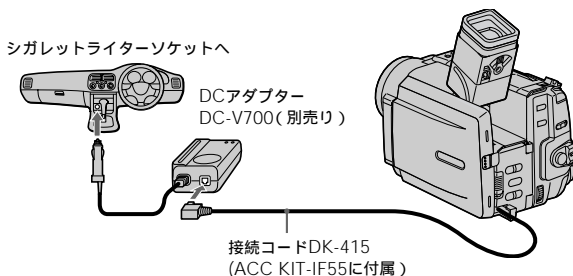
カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

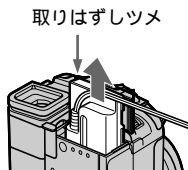
バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど、長時間使用するときは家庭用コンセントや自動車の電源を使うと、バッテリー切れの心配なく使えます。

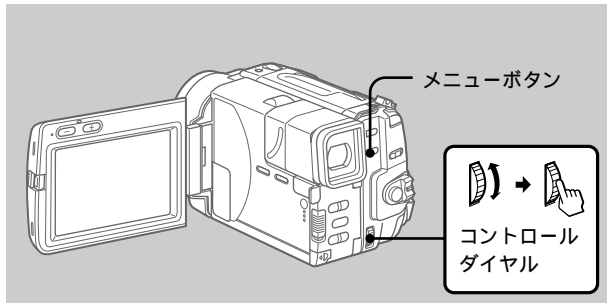
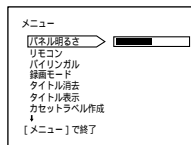
ご注意

- コンセントにつないで使う場合は、ACチャージャーのモード切り換えスイッチをカメラ/ビデオ側にしてください。充電側にしていると電源は供給されません。
- DCアダプターは、DC-V515Aも使用できます。

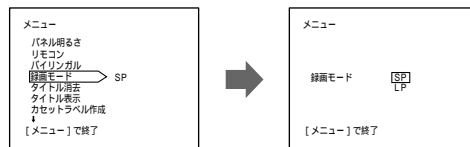
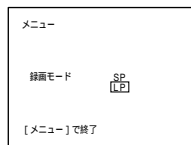
コンセントにつないで使う

自動車電源につないで使う

接続プレートを取りはずす

ふたを開け、取りはずしツメを押して、接続プレートを取り出す。

メニューで設定を変える

ご注意

- 電源スイッチが「ビデオ」のときと「カメラ」のときでは、メニュー内容が異なります。
- 対面撮影中は、液晶画面やファインダーにメニュー画面が出ません。

❶ メニューボタンを押す。

❷ コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。

希望の項目だけが表示される。

❸ コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。

❹ 必要なだけ手順2、3を繰り返す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

次のページへつづく

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき	**パネル明るさ**		液晶画面の明るさを調節する。	→詳しくは15ページ
	リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	通常はこの位置へ。
		切	リモコンが働かない。	他機のリモコンによって誤動作するときなど。
	録画モード	●SP	SP（標準モード）で録画する。	通常はこの位置へ。
		LP	LP（長時間モード）で録画する。	長時間録画したいとき。
	おしらせブザー	●入	誤った操作をしたときや撮影スタート／ストップ時にブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
		切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
	タイトル消去		タイトルを消す。	→詳しくは55ページ
	パネルバックライト	●明るさノーマル	ー	通常はこの位置へ。
		明るい	液晶画面を明るくする。	画面が暗いとき。
	パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節する。	→詳しくは65ページ
	ファインダー明るさ		ファインダーの明るさを調節する。	→詳しくは66ページ

LPモードの録画時間は
SPモードの録画時間の1.5倍となります。

LPモードについて
- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを16BITにすると
アフレコできません。

パネルバックライトで「明るい」を選んだとき
撮影時のバッテリー使用時間が約1〜2割短くなります。
バッテリー以外の電源で使うときはパネルバックライトは自動的に「明るい」になります。このとき、メニューにパネルバックライトの項目は表示されません。

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき	**画面表示**	●パネル	画面表示ボタンを押したときに画面表示を液晶画面に出す。	通常はこの位置へ。
		ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	テレビで見るときに画面表示を出したいとき。
	オートTVオン	入	LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にテレビの電源を入れる。	→詳しくは23ページ
		●切	テレビの電源を入れない。	
	TV入力切りかえ	●ビデオ1 ビデオ2 ビデオ3	LASER AVLINK 機能を使うとき、自動的にテレビの入力を切り換える。	→詳しくは23ページ
		切	テレビの入力を切り換えない。	

	項目	設定	意味	どんなとき
電源スイッチが「ビデオ」のとき	**バイリンガル**	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。	→詳しくは70ページ
		メイン	左音声または主音声で再生する。	
		サブ	右音声または副音声で再生する。	
	タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	通常はこの位置へ。
		切	タイトルを出さない。	再生時にタイトルを出したくないとき。
	カセットラベル作成		カセットになまえを付ける	→詳しくは58ページ
	音声ミックス		音声モードST1⟷ST2間のバランスを調節する。	ステレオ1(撮影時の音声）とステレオ2（アフレコした音声）のどちらかを大きくしたいとき。 →詳しくは52ページ
	Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。	→詳しくは38、40、42ページ
		切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	→詳しくは38、40、42ページ
	データコード	●日付／カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻とカメラデータを表示する。	日付・時刻とカメラデータを確認したいとき。
		日付データ	日付・時刻を表示する。	日付・時刻だけを確認したいとき。

次のページへつづく

メニューで設定を変える（つづき）

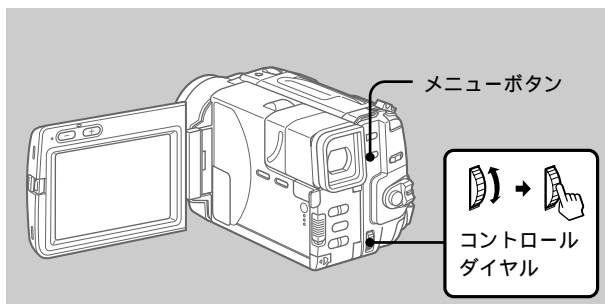
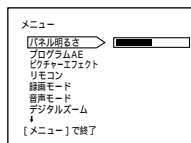
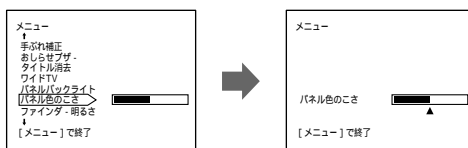
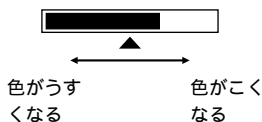
電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
プログラムAE		被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。	→詳しくは33ページ
ピクチャーエフェクト		画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。	→詳しくは30ページ
音声モード	●12BIT	2つのステレオ音声が記録できる。	通常はこの位置へ。
	16BIT	高音質で1つのステレオ音声が記録できる。	高音質で録音したいとき。
デジタルズーム	●入	デジタルズームを働かせる。（最大ズーム倍率は40倍）	通常の最大ズーム（10倍）でも被写体が小さいとき。10倍をこえると画像は粗くなります。
	切	デジタルズームを働かせない。（最大ズーム倍率は10倍）	デジタルズームが必要ないとき。
手ぶれ補正	●入	手振れを補正する。	通常はこの位置へ。
	切	－	手振れの心配がないとき。
ワイドTV		再生したときに横長の画面になるように撮影する。	→詳しくは26ページ
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	通常はこの位置へ。
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。	被写体に撮影していることを意識させたくないとき。
日時あわせ		－	時計を合わせ直すとき。→詳しくは67ページ
デモモード	●スタンバイ／入	デモンストレーションを表示する。	本機の機能を一覧するとき。
	切	デモンストレーションを表示しない。	デモンストレーションを表示したくないとき。

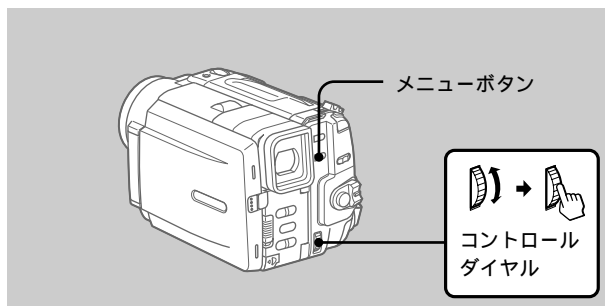
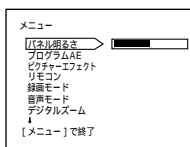
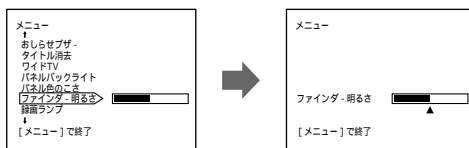
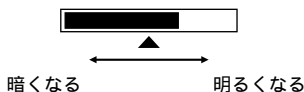
電源をはずすと
- ピクチャーエフェクトは「切」に戻ります。
- プログラムAE、音声ミックス、リモコン、バイリンガルのメニュー項目は電源をはずして5分たつと、お買い上げ時の設定に戻ります。
  その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持しています。

被写体に接近して撮るとき
録画ランプが「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合、録画ランプを「切」にすることをおすすめします。

デモモードは
- カセットが入っている場合はメニューで入／切ができません。
- お買い上げ時は「スタンバイ／入」に設定されています。カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると約10分後にデモンストレーションが始まります。
- すぐにデモンストレーションを見るには、カセットを取り出してメニューでデモモードを選び、「スタンバイ／入」にしてメニュー画面を消します。
- カセットを入れると、デモンストレーションが中断されます。通常の撮影には影響ありません。デモンストレーションの設定は自動的に「スタンバイ／入」に戻ります。

液晶画面の色のこさを調節する

❶ [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のとき**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「パネル色のこさ」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **コントロールダイヤルを回し、色のこさを調節して、ダイヤルを押す。**

❹ **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が消える。

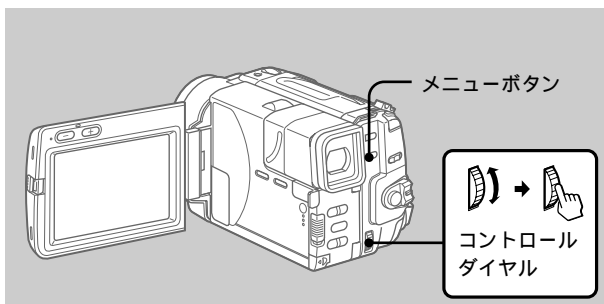
ファインダーの明るさを調節する

❶ [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のとき**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「ファインダー明るさ」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **ファインダーをのぞきながらコントロールダイヤルを回し、明るさを調節して、ダイヤルを押す。**

❹ **メニューボタンを押す。**

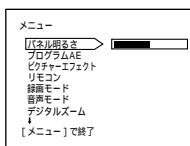
メニュー画面が消える。

日付・時刻を合わせ直す

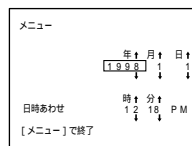
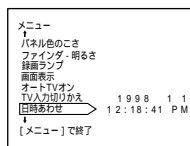
お買い上げ時にあらかじめ日付・時刻は設定されていますが、1年近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（80ページ）

- 海外に行くとき
- しばらく使わずにいて時計が合っていないとき

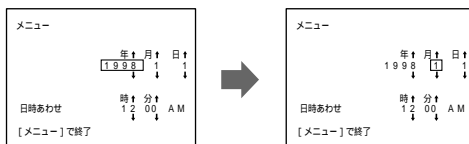
真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ [撮影スタンバイ中]に、**メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。**

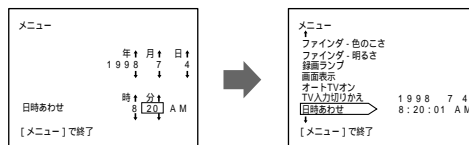
使いこなす―その他の使いかた―

次のページへつづく

❸ 「年」を合わせる。

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

❹ 手順3と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❺ 「分」と「秒」を合わせる。

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。

❻ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

使えるビデオカセット

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta 方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

  カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。

  カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの冒頭や途中に1度無記録部を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部を作らないために、下記の操作を行ってください。

  撮影の途中でテープを出し入れしたり、VTRモードで再生した場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

  無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、上記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。

  カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

  カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。

  CMマークの付いたミニDVカセットをお使いください。

著作権信号について

再生するとき

本機で再生されるソフトに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているソフトを本機で録画することはできません。このようなソフトを録画しようとすると液晶画面やファインダー、テレビ画面に「ダビングプロテクトされています。録画できません。」（コピー禁止）の表示が現われます。

カセットのCM4K マークについて

この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

その他

次のページへつづく

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

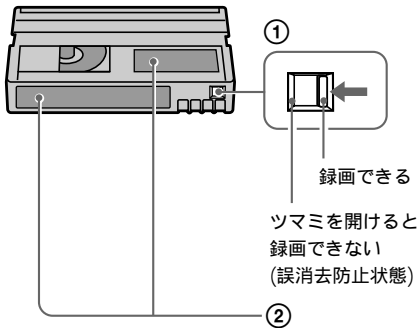
音声多重記録テープを再生するとき

ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、左の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します。（63ページ）

本機では二重音声は記録できません。

ミニDVカセットについてのご注意

間違って消さないために

カセットの背にある左図①の誤消去防止ツマミを横にずらして、「赤」にします。

ミニDVカセットにラベルを貼るときは

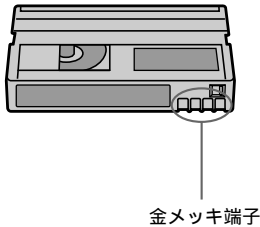
左図②の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因になります。

ミニDVカセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

金メッキ端子のお手入れ（CIIIマーク付きミニDVカセット）

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される

ビデオカメラレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況（液晶画面を使っているか、オートフォーカスがどのような動きをしたかなど）に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、ビデオカメラレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

残量時間が10〜20分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面またはファインダーに が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

ビデオカメラレコーダーを「撮影スタンバイ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、ビデオカメラレコーダーは動かさないでください。

もし、正しい残量を表示していないと思われる場合は、一度バッテリーを使いきってから再度満充電してください。ただし、高温／低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電*1（または実用充電*2）したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なります。

*1 満充電

ACチャージャーの充電ランプが消えるまで充電したときの状態

*2 実用充電

ACチャージャーの液晶表示窓のバッテリーマークがすべて点灯するまで充電したときの状態

その他

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、ソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ファインダーや液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。78ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない	• 電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	12
	• テープが終わりになっている。	• 巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	10, 21
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• そのカセットで撮るなら誤消去防止ツマミを赤が見えない側にする。または新しいカセットを入れる。	10, 70
	• テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	• カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	79
	• スタート/ストップモードが「 地面撮り防止」になっている。	•「 」にする。	14
すぐに撮影が止まる	スタート/ストップモードが「 地面撮り防止」または「5秒」になっている。	•「 」にする。	14
電源が途中で切れる	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	電源スイッチを一度「切」にしてから、「カメラ」にする。	—
ファインダーの画像がはっきりしない	視度調節が正しくない。	視度調節する。	11
手振れ補正が働かない	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	「入」にする。	36
オートフォーカスが働かない	• 手動ピント合わせになっている。	• フォーカスボタンを押して、表示を消す。	35
	• オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	• 手動でピントを合わせて撮影する。	35
液晶画面とファインダー内に⊗が点滅している	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	79

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
フェーダーボタンが働かない	• スタート/ストップモードが「⊥ 地面撮り防止」または「5秒」になっている。	•「 ⊔ 」にする。	14
	•タイトルが表示されている。	• タイトルを消す。	55
カウンターに5桁のアルファベットと数字が出ている	自己診断表示機能が働いている。	サービス番号にしたがって対応する。	78
ファインダーの画像が消えている	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	15
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる	スミア現象といい、故障ではない。	—	—
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	64

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない	• 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	•「ビデオ」にする。	18
	• テープが終わりになっている。	• テープを巻き戻す。	21
ノイズが多かったり、映らなかったりする	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	79
音声が小さいまたは聞こえない	• 音量を最小にしている。	• 音量を大きくする。	20
	• メニューの「音声ミックス」がステレオ2側になっている。	• 音声ミックスを調節する。	63, 52
撮影日を画面に出して日付サーチできない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	38, 69
	• メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	63
タイトルサーチできない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	40, 69
	• メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。	•「入」にする。	63
	• タイトルが入っていない。	• タイトルを入れる。	53

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
アフレコした音声が聞こえない	メニューの「音声ミックス」がステレオ1側になっている。	音声ミックスを調節する。	63, 52
タイトルが出ない	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	63
日付サーチやタイトルサーチが誤動作する	テープの冒頭や途中に無記録部分がある。	—	69

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない	• バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。	• 充電されたバッテリーを取り付ける。	8, 9
	• ACチャージャーのプラグがコンセントからはずれている。	• コンセントに差し込む。	60
エンドサーチが働かない	• カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、一度も撮影していない。	—	17, 21
	• カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。	—	17, 21
ファインダーに画像が出ない	液晶画面が開いている。	液晶画面を閉じる。	15
バッテリーの消耗が早い	• 温度が極端に低いところで使用している。	—	71
	• 充電が不充分。	• 充分に充電する。	8
	• バッテリーそのものの寿命。	• 新しいバッテリーに交換する。	9
カセットが取り出せない	• 電源（バッテリーやパワーアダプター）がはずれている。	• 電源をきちんと接続する。	9, 60
	• バッテリーが消耗している。	• 充電されたバッテリーを取り付ける。	8, 9
💧や⏏が点滅し、カセットの取り出し以外できない	結露	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	79
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	70

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	53, 69
	• カセットのメモリーがいっぱいになっている。	• ほかのタイトルを消去する。	55
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• 誤消去防止ツマミを元に戻す。	70
	• 無記録部分にタイトルを入れようとしている。	• 録画された部分にタイトルを入れる。	53
カセットになまえを付けられない	• カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	• カセットメモリー付きカセットを使う。	58
	• カセットのメモリーがいっぱいになっている。	• タイトルをどれか消去する。	55
	• カセットが誤消去防止状態になっている。	• 誤消去防止ツマミを元に戻す。	70
ダビング編集中、DVケーブルを正しく接続しているのにモニター画像が出ない	—	DVケーブルを一度ぬいてからもう1度接続しなおしてください。	47
付属のワイヤレスリモコンが働かない	• メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	62
	• リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	• 障害物を取り除く。	—
	• リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	• ⊕極と⊖極を合わせて、正しく入れる。	86
	• 乾電池そのものの寿命。	• 新しい乾電池に交換る。	86
電源が入っているのに操作できない	—	バッテリーまたはACチャージャーの接続プレートを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACチャージャーの接続プレートを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときはRESET（リセット）ボタン（83ページ）を先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	60, 83

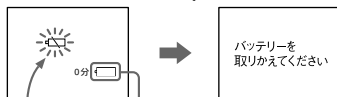
その他

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。

- 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
- 表示は実際には黄色です。
- ♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

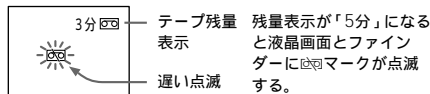
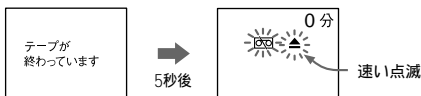
液晶画面　　（お知らせメッセージ）

遅い点滅　　バッテリー残量表示

バッテリー残量表示について*

残量表示が▭になると液晶画面とファインダーにマークが点滅する。

* 残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

テープ残量

残量表示が「5分」になると液晶画面とファインダーにマークが点滅する。

♪テープの終わり

日付・時刻の未設定(67ページ)

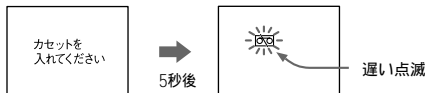
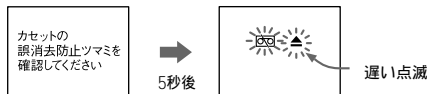
日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。(80ページ)

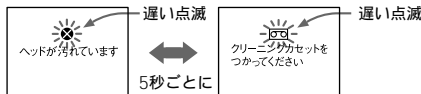
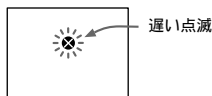
メニューで
日付 時刻を
あわせてください

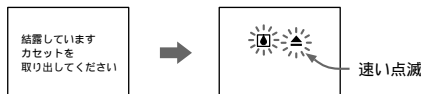
バッテリーの寿命

“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときのみ表示が出ます。

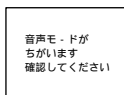
このバッテリーは
古くなりました
取りかえてください

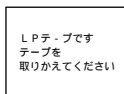
♪カセットが入っていない

♪カセット誤消去防止（70ページ）

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

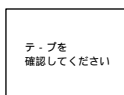
ヘッド汚れ（79ページ）

クリーニングカセットできれいにする。

♪結露（79ページ）

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪アフレコできない (51ページ)

音声モードが
ちがいます
確認してください

16BITで記録されたテープにアフレコしようとしたときに出ます。アフレコは12BITで記録されたテープにしかできません。

ＬＰテープです
テープを
取りかえてください

LPで記録されたテープにアフレコしようとしたときに出ます。アフレコはSPで記録されたテープにしかできません。

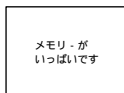
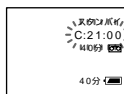
テープを
確認してください

なにも記録されていないテープにアフレコしようとしたときに出ます。

カセットメモリーが付いていない

カセットメモリー付き
カセットを
入れなおしてください

カセットメモリーを使ったサーチや、カセットラベル、タイトルの機能はカセットメモリーの付いたカセットでのみできます。

カセットメモリーの容量が足りない

メモリーが
いっぱいです

自己診断表示機能が働いている (78ページ)

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示が出たら、78ページをご覧ください。

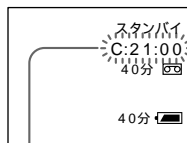
♪その他の異常

1度カセットを取り出す。かわらない場合は1度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機が正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）

自己診断表示
- 「C:□□:□□」:
  お客様自身で正常に戻せる状態
- 「E:□□:□□」:
  テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口に相談していただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出し、約1時間後に入れ直す。	79
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットでビデオヘッドをきれいにする。	79
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。	—
		• 電源を取りはずし、取り付け直してから再度操作し直す。	—
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンター、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	—

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

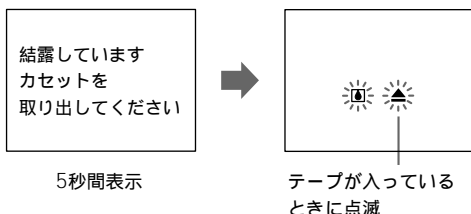
お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、液晶画面やファインダーに下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露しています
カセットを
取り出してください

5秒間表示

テープが入っているときに点滅

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出し以外できません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM12CLを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画面が出ない。
- 液晶画面やファインダーに「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

（正常画）

や

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

次のページへつづく

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合は日時は記録されないままで本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACチャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz (ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz (ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークの付いたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81 mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画/再生時間	SPモード：60分（DVM60使用時） LPモード：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	約2分30秒(DVM60使用時)
ビューファインダー	電子ビューファインダー：カラー
撮像素子	1/3インチCCD固体撮像素子
レンズ	10倍ズームレンズ（光学） 40倍（デジタル） 焦点距離 f = 4.0〜40 mm （35 mmカメラ換算では38〜380 mm） F 1.8〜2.6 TTLオートフォーカス機構付き インナーフォーカスマクロ付き
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	8ルクス（F 1.8）
被写体照度範囲	8〜100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S1映像出力端子	4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 色信号：0.286 Vp-p、75 Ω不均衡
映像／音声出力端子	特殊ステレオミニジャック（1） 映像：75 Ω不平衡、同期負 音声：327 mV（47 kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2 kΩ
DV入力／出力端子	4ピン特殊コネクター
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø 3.5）（1） 0.388 mV、DC2.5V 入力インピーダンス6.8kΩ
ランク端子	ステレオミニミニジャック（Ø 2.5）（1）

液晶画面

画面サイズ	3.5型
有効画面領域	72.4×50.4mm （幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	184,580ドット 横839×縦220

LASER AVLINK

映像／音声	IR空間伝送EIAJ*準拠
音声キャリア	L ch：4.3MHz R ch：4.8MHz

電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力7.2 V
消費電力	ビューファインダーを使ってのカメラ録画時: 3.9 W 液晶画面を使ってのカメラ録画時: 4.9 W LASER AVLINK使用による再生時（液晶画面「切」時）: 4.9 W
動作温度	0 ℃〜＋40 ℃
保存温度	−20 ℃〜＋60 ℃
外形寸法 （最大突起部含まず）	76×82×136 mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約620 g（バッテリー、テープ含まず）
撮影時総質量	約730 g（バッテリーパックNP-F550、テープDVM60含む）
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ワイヤレスリモコン（1） 単3型乾電池（リモコン用）（2） レンズキャップ（1） AV接続ケーブル（1） 取扱説明書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 撮り方ビデオ（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

＊EIAJ（日本電子機械工業会）規格

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、デジタルビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）、お買い上げ店、または添付の“ソニーご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACチャージャーAC-V700は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

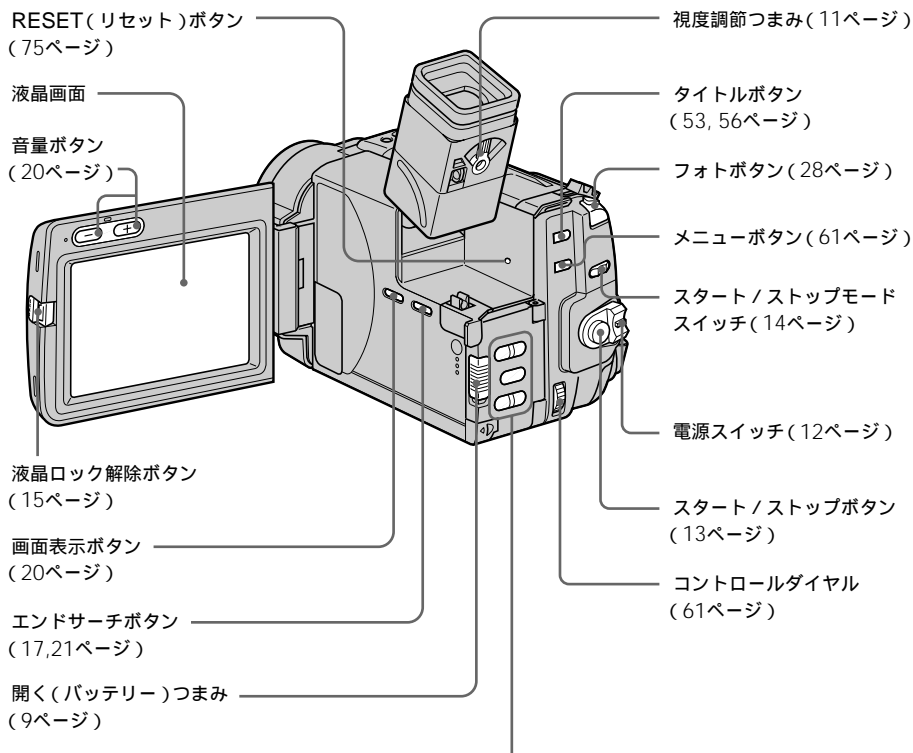
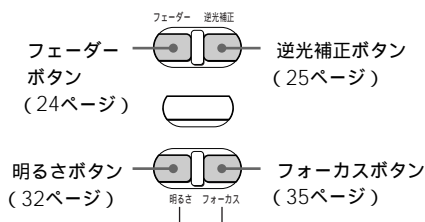
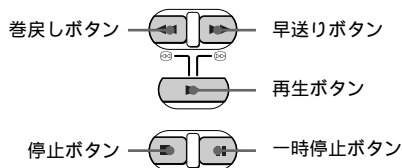
壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

各部のなまえ 使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

RESET **(リセット)ボタン**
(75ページ)

液晶画面

音量ボタン
(20ページ)

液晶ロック解除ボタン
(15ページ)

画面表示ボタン
(20ページ)

エンドサーチボタン
(17,21ページ)

開く(バッテリー)つまみ
(9ページ)

視度調節つまみ (11ページ)

タイトルボタン
(53, 56ページ)

フォトボタン (28ページ)

メニューボタン (61ページ)

スタート/ストップモード
スイッチ (14ページ)

電源スイッチ (12ページ)

スタート/ストップボタン
(13ページ)

コントロールダイヤル
(61ページ)

その他

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

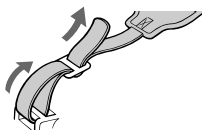
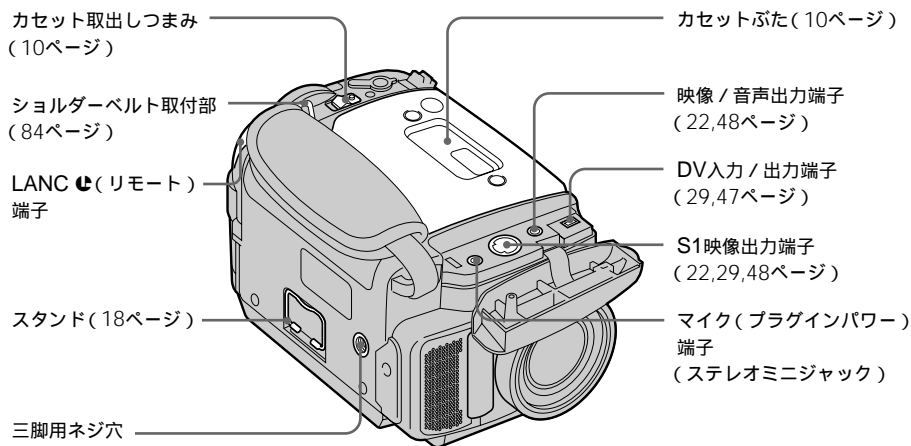
このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークが付いているビデオ機器関連商品をお勧めします。

これは登録商標です。

i.はi.LINKのマークです。
i.LINKとはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様技術を意味し、ソニーの商標です。

DV端子は、i.LINKに準拠したDV入出力専用の端子です。

ショルダーベルト（別売り）の取り付けかた

三脚を使うときは、ネジの長さが6.5mmのものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

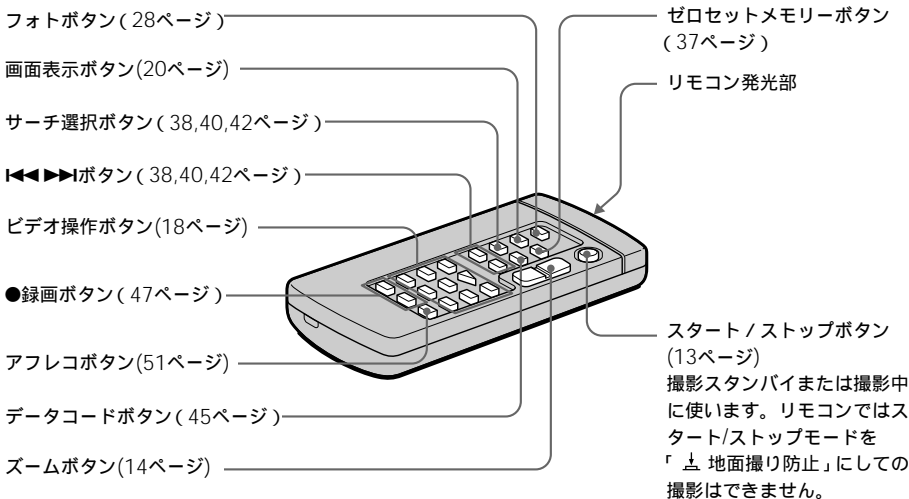
別売りの外部マイクを使う場合
マイク（プラグインパワー）端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

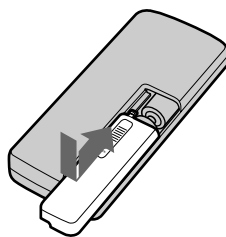
LANC◐**（リモート）マークについて**
◐は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

その他

次のページへつづく

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ **押しながらずらす。**　❷ **入れる。単3形2本**　❸ **もとに戻す。**

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンとリモコン受光部との間には

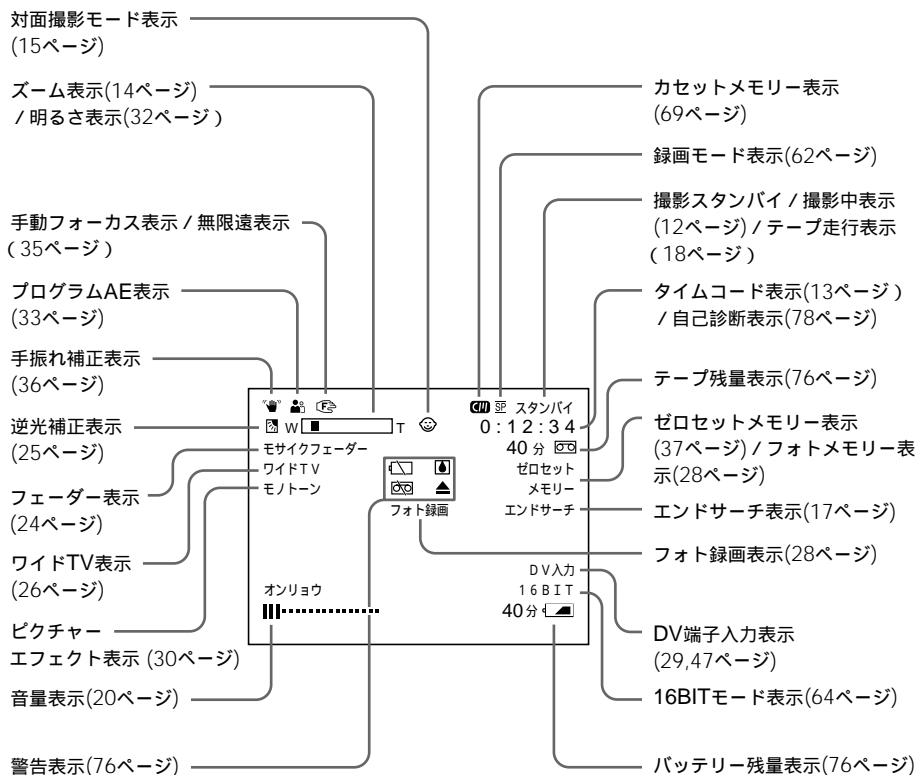
障害物がないようにご注意ください。

リモコンの操作範囲

リモコンの届く範囲は屋内使用時で約5mです。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。角度によっては操作できない場合があります。

液晶画面とビューファインダーの表示

その他

用語解説

ア行

音声モード …64ページ
音声の記録モードのこと。DV方式では、
① 12BITモード
ステレオ1（撮影時の音声）とステレオ2（アフレコした音声）の2つのステレオ音声が記録できる。
② 16BITモード
あとから音声を追加することはできないが、1つのステレオ音声を高音質で記録できる。

カ行

逆光補正…25ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ…12ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。電源スイッチを「カメラ」にし、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

視度調節…11ページ
ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

タ行

タイムコード…13ページ
テープ上の位置を映像とともに時・分・秒・フレーム（1フレーム＝約1/30秒）単位で記録する機能。1フレームが映像の1コマに対応している。DV方式ではフレーム単位でカウントできるので、テープ位置の正確なカウンターとして使える。テープの途中に無記録部分があるとタイムコードは0から始まる。本機のタイムコードはドロップフレーム方式である。

データコード …45ページ
テープを録画した日付（年・月・日）、時刻（時・分・秒）とカメラデータをテープに記録する機能。再生時、必要に応じて画面上に表示できる。後から撮影日時と撮影情報の確認をする場合などに使える。

手振れ補正 …36ページ
カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手振れ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ドロップフレーム方式…13ページ
本機はドロップフレーム方式を採用している。30フレーム／秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が1/29.97秒のNTSC映像信号との間に起きるずれは自動的に補正される。分の単位が更新されるときに、フレームを02から始めることで補正を行う。ただし分が10の倍数のときは00から始める。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …33ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド …79ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ワ行

ワイドTVモード …26ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

アルファベット順

DV（ディーブイ）静止画キャプチャーボード…29ページ
デジタルビデオの画像をパソコンに静止画として取り込むためのパソコン用の拡張ボード（基板）。
本機のDV端子を使って接続すると、デジタルのまま画像をパソコンに転送できる。市販のアプリケーションソフトウェアを使えばパソコンに取り込んだ画像をさまざまに加工したり、印刷したりできる。

DV（ディーブイ）方式…47ページ
コンスーマー向けに新たに開発されたデジタルVTRの方式。映像および音声信号をデジタル信号でテープに記録するため、高画質、高音質で記録できる。

ID-1（アイディー）方式…26ページ
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムのこと。
この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わる。

ID-2（アイディー）方式
ID-1方式に加え、著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステム。

i.LINK（アイリンク）…84ページ
i.LINKマークはi.LINKのマークです。i.LINKとはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様技術を意味し、ソニーの商標です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリー…8ページ
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリー。本機はインフォリチウムバッテリー対応。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

LASER（レーザー） AVLINK（エーブイリンク）…23ページ
赤外線で映像と音声の送受信を行うシステム。

NTSC（エヌティーエスシー）方式 …82ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL（パル）やSECAM（セカム）方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

S（エス）映像端子/S1（エス）映像出力端子…22、48ページ
映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。
S1映像信号では、通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されている。

索引

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい

スキー場、真夏の海岸

→ ビーチ＆スキーモード（33ページ）

舞台、結婚式

→ スポットライトモード（33ページ）

白い服の人物が白い壁の前にいる

→ 逆光補正（25ページ）

背後に光があり顔が暗くなる

→ 逆光補正（25ページ）

暗い

夜景、夕景、花火

→ サンセット＆ムーンモード（33ページ）

撮りたいところが広い

→ 風景モード（33ページ）

列車から窓の外を撮る

→ 風景モード（33ページ）

被写体の動きが速い

ゴルフスイングなど

→ スポーツレッスンモード（33ページ）

三脚を使う

→ 手振れ補正解除（36ページ）

画像をこうしたい

効果的な場面転換をしたい

→ フェードイン、フェードアウト（24ページ）

被写体を引き立てたい

→ ソフトポートレートモード（33ページ）

写真のような静止画を撮りたい

→ フォト撮影（28ページ）

意図的にピントを合わせたい

→ 手動ピント合わせ（35ページ）

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたい

→ ワイドTVモード（26ページ）

タイトルを出したい

→ タイトル機能（53ページ）

ズーム時の画質の低下を抑えたい

→ メニュー：デジタルズーム（64ページ）

画像にデジタル処理をしたい

→ ピクチャーエフェクト（30ページ）

再生するとき

液晶画面の色が変

→ 液晶画面の色のこさを調節する（65ページ）

見たい場面にすばやく戻したい

→ ゼロセットメモリー（37ページ）

タイトルの入った場面の頭出しをしたい

→ タイトルサーチ（40ページ）

静止画の場面を探したい

→ フォトサーチ（42ページ）

静止画だけ次々見たい

→ フォトスキャン（44ページ）

撮影した日時を確認したい

→ データコード（45ページ）

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになって不明な点や技術的な相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-63-1177
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型名：　DCR-TRV5
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

Printed in Japan